犬山市多文化共生推進ビジョン

2019（平成 31）年 3 月

《目　次》

１、ビジョン策定の背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２、課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

３、趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

４、策定プロセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

５、基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

６、基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

７、重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

８、推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

《資料編》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

・犬山市多文化共生推進会議規則・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

・犬山市多文化共生推進会議委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・１８

・犬山市多文化共生推進会議について・・・・・・・・・・・・・・・１９

・外国人市民基礎調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

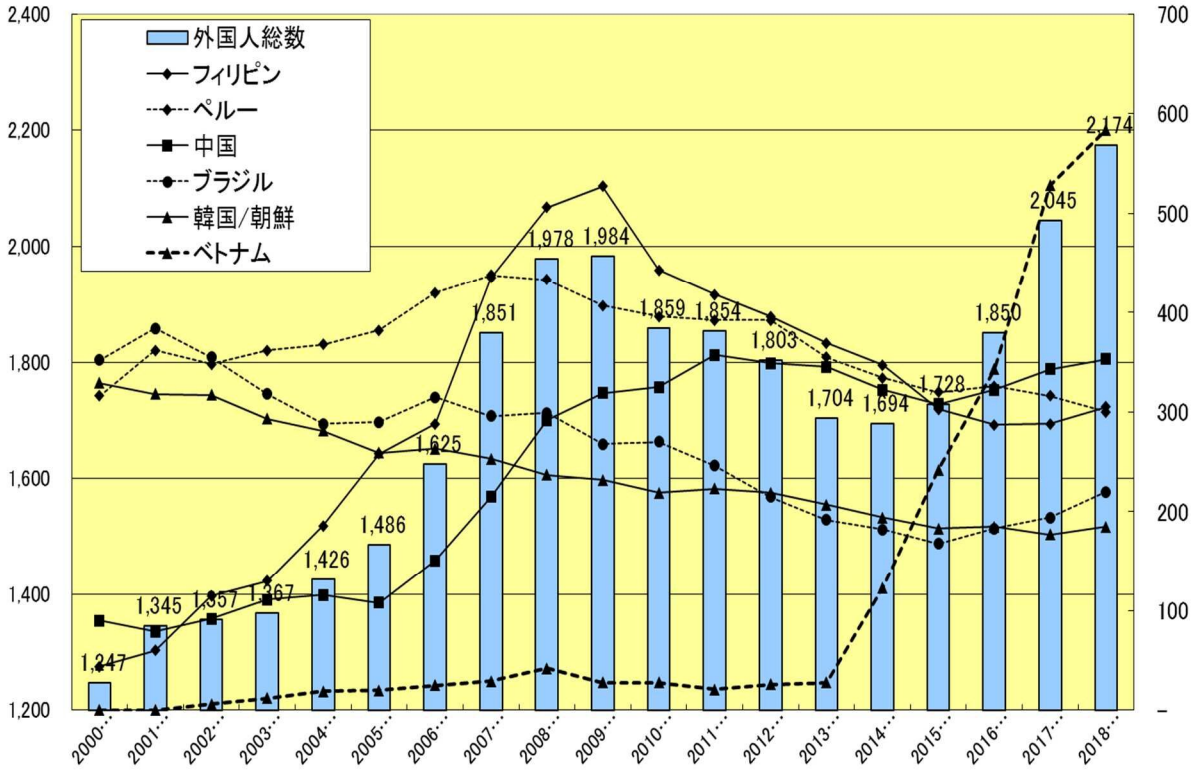
・フロイデまつりでの多文化共生アンケート結果・・・・・・・・・４５

・犬山市多文化共生推進会議実施記録・・・・・・・・・・・・・・・５３

１、ビジョン策定の背景

○本市の外国人市民数は再び増加傾向に転じ、多国籍化もより一層進展してきている

本市の外国人市民数は、2009（平成 21）年までフィリピン籍・中国籍を中心に増えました。また、国内でも珍しいペルー籍が集住する地域でした。その後の景気後退などにより、減少したものの、2014（平成 26）年からは、ベトナム籍の急増により再び増加傾向に転じています。最近では、ブラジル籍が増加し、多国籍化がより一層進展してきています。

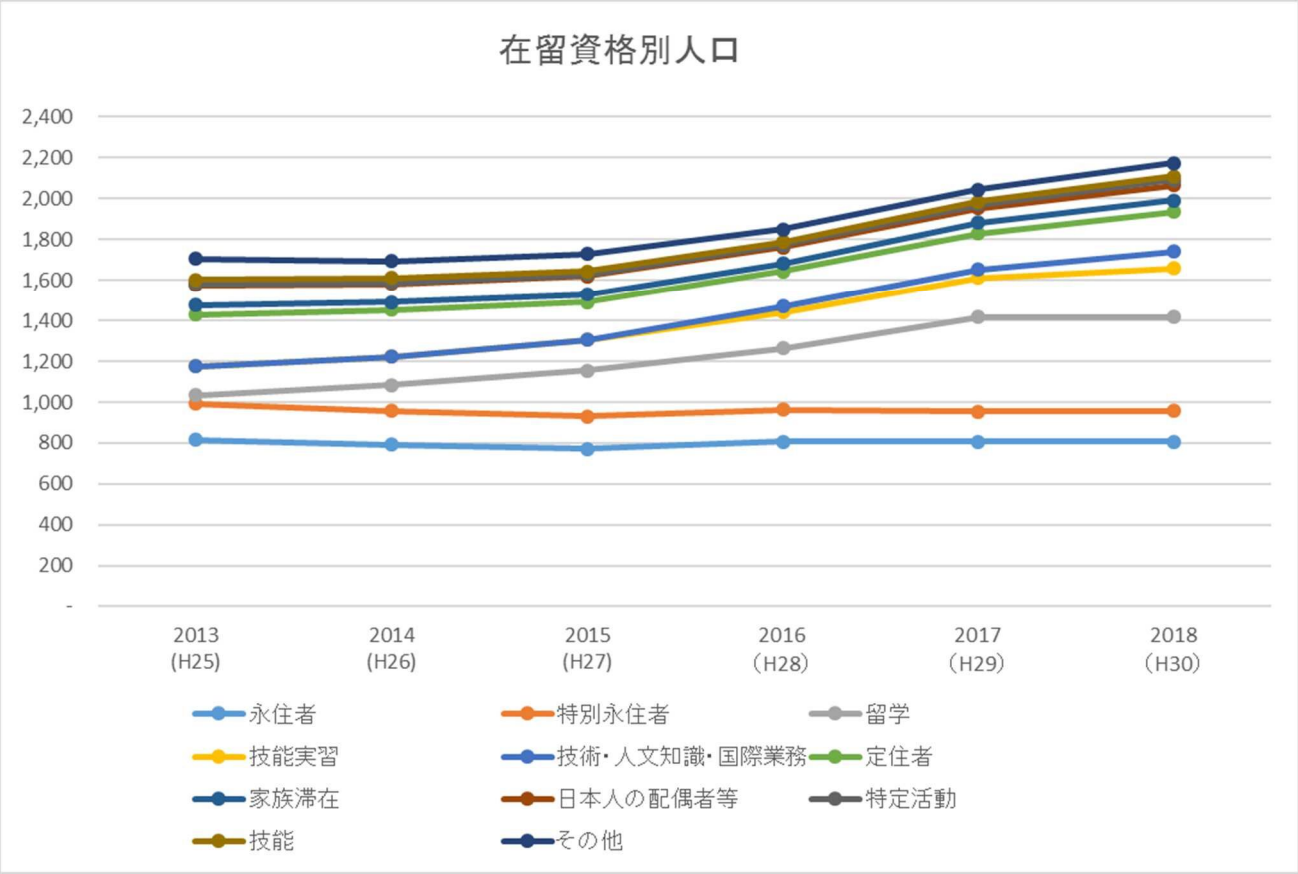


○「活動に制限のない在留資格の人」が全体の６割を占め、「技能実習」「留学」なども増えている

2013（平成 25）年から留学生・技能実習生の割合が増えています。国籍別人口のベトナム籍の増加が始まった時期と重なるので、多くのベトナム籍の在留資格は留学・技能実習生と考えられます。

また、活動に制限のない在留資格が全体の６割を占めています。これは、外国籍であっても、就労に制限がなく日本で働き、生活をすることができる資格です。将来にわたり日本で生活する見込みの外国人市民が全体の６割いると考えられます。

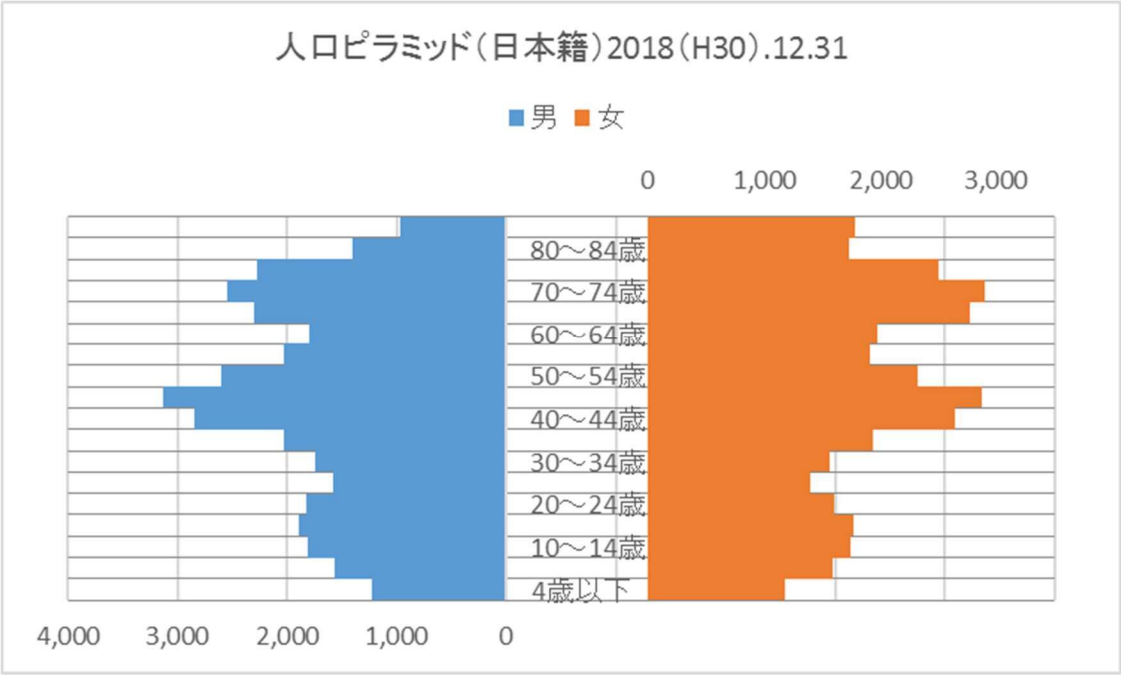
「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が 2019（平成 31）年４月１日に施行され、今後も外国人市民の増加が予想されます。

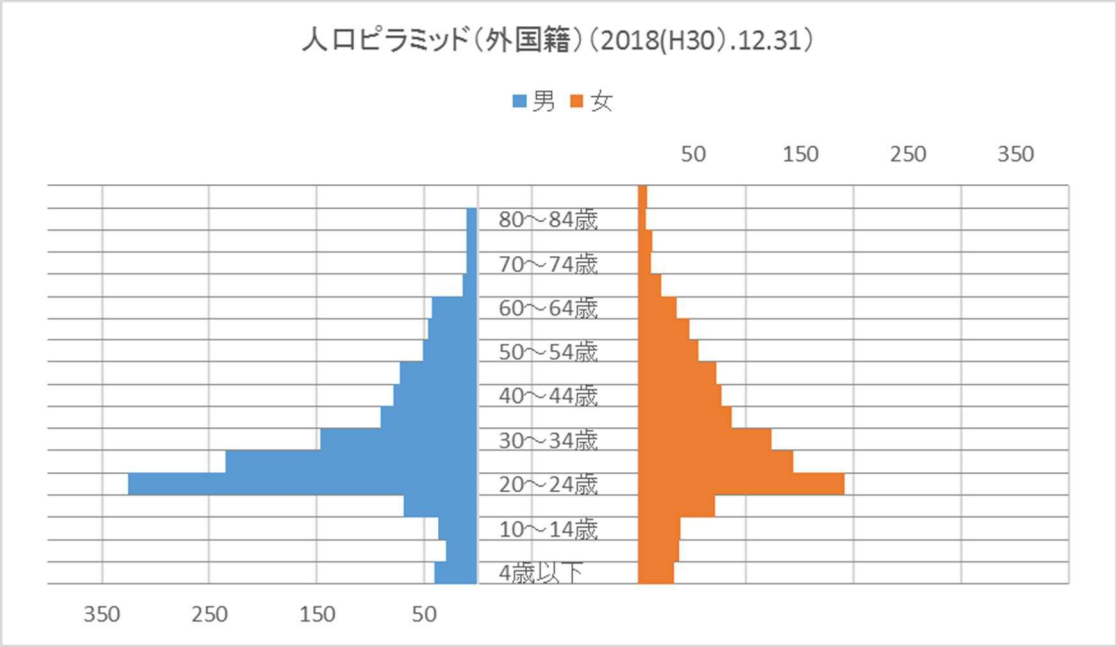


○外国人市民は若い世代が多いのが特徴

日本籍に比べて、外国籍は若い世代の住民が多く、近年では、技能実習生や留学生などに加えて、滞在が長期化してきた定住者・永住者の第２世代が増えてきました。

今後は、担い手として外国人市民が地域で活躍できるような仕組みづくりが求められます。





○国籍、在留資格、在留期間の３つの多様化

国籍、在留資格、在留期間が多様化するということは、外国人市民を取り巻く状況も多様化することにつながります。それに伴い、外国人市民が抱える課題も多岐にわたり、長く暮らしても課題がなくなるわけではない状況となっています。

国籍ごとに課題をとらえるだけでなく、ライフステージに応じきめ細かい支援が必要になってきます。

※「外国人市民」・・・犬山市に生活拠点があり外国籍を持つ、あるいは日本国籍であっても外国につながりを持つ人を指します。

２、課題

犬山市多文化共生推進会議、犬山市多文化共生推進委員会の中で、外国人市民について意見交換・情報共有を行いました。また、地域に暮らす外国人市民の方からも「外国人市民基礎調査」を行い様々な分野についての聞き取り調査や、イベントを利用して市民にアンケート調査を行いました。

その中で外国人市民が日本で暮らしていくためには、次のような課題に直面していることが分かりました。また、外国人市民にサービスを提供する行政側からも様々な課題があげられました。

○生活支援について

【子育て・就学・教育支援】

外国人市民基礎調査（資料編ｐ．20~）の中で多くの保護者は、子どもに日本の大学を卒業して欲しいと考えていることがわかりました。子育てや教育など、子どもの成長に関することはとても重要な課題です。特に、制度や習慣が異なる国で子育てするということは、知らない事や不安な事が多く、しっかりとした情報提供や相談体制が求められます。また、外国人市民の子どもたちが自身のアイデンティティを確立し、自信をもって遊び学ぶための環境を整えることが必要です。

楽田子ども未来園プレスクールの様子

【緊急時・災害時】

外国人市民基礎調査（資料編ｐ．20~）の中で、会社や学校などに所属をしている人たちは、防災訓練に参加する機会がありますが、高齢者や子育て中の世代では、その機会がなく災害時での行動に不安を持っていることがわかりました。平常時から地震や台風、風水害、火災などに対して、どのように行動したらよいか、外国人市民と日本人市民が共に災害や緊急時に対応できる知識・能力を高め、互いの命を守っていく地域づくりが必要です。また、ライフステージに応じた課題に対応するために、柔軟で組織を超えた横断的な体制整備が求められます。

避難所での様子

○コミュニケーションについて

外国人市民が広範囲にわたる行政サービスを利用する際、言葉の壁により日本人市民と同じ市民サービスが受けられないケースや、行政窓口からも言葉が通じないことや、母国との制度の違いのため窓口での説明が十分伝えられない、などの課題があがりました。日本語の理解が十分でない外国人市民のために、日本語学習の機会の充実、翻訳通訳の為のコミュニティ通訳の充実や、理解しやすい情報提供・伝達の仕組みの構築が必要です。

○豊かで活力のある多文化共生の地域づくりについて

【多文化共生に関する学習・相互理解】

多文化共生のまちづくりを進めていくために、外国人市民と日本人市民の双方からの理解を高めていくことが求められています。子どもたちからの聞き取り調査やアンケート調査では「自分たちが外国語を学んで日本の事を教える」という積極的な意見や「いろいろな国の飲食店を知ってもらい、たくさんの人に食べて欲しい」という意見がありました。

大人からも「双方向の交流を促進することで、多文化共生に対する理解が深まる」という意見があり、日常的に身近な場所で交流できる機会や場所が必要です。そのためにも、外国人市民が地域社会へ参加していけるような仕組みづくりが必要です。

外国人市民向け防災訓練の様子

３、趣旨

平成２７年度より犬山市多文化共生推進会議を設置し、犬山市における多文化共生の推進について、６回にわたり情報共有・意見交換を行ってきました。

国際化・少子高齢化の時代にあって、将来にわたり地域経済や地域生活を維持し、さらに活力のある犬山市を築いて行くためには、これまで培ってきた国際交流のまちづくりを礎に、より一層の多文化共生の理念の普及が求められます。

「多文化共生」は外国人市民の方々が市民の一員であるという視点と、同じ地域の構成員として、対等の関係を築きながら、社会参加を促す仕組みづくりを目指すものです。

みんなが安心して暮らし、未来を担う子どもたちがふるさととして誇りが持てる犬山市を目指していきます。

そのためには外国人市民の為の教育、医療、福祉、環境など広範囲にわたる行政サービスを整え、快適な社会生活が送れるようにコミュニケーションや生活の支援を行うことが必要です。また、幅広い分野における多文化共生の地域づくりを推進していくためには、柔軟で組織を超えた横断的な体制整備が求められています。

国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化・習慣を認め合い、安心して生活できる地域社会づくりを推進し、犬山市の多文化共生施策を計画的に推進するために、「犬山市多文化共生推進ビジョン」を策定しました。

４、策定プロセス

○犬山市多文化共生推進会議の設置

人　　数：13 人

構　　成：学識経験者、外国籍を有する市民、日本国籍を有する市民、
　　多文化共生関係団体、公共機関等

任　　期：2018（平成 30）年 1 月 24 日～2020（平成 32）年 1 月 23 日

開催回数：６回

多文化共生推進会議の様子

○外国人住市民基礎調査

実施期間：2018（平成 30）年 7 月 4 日～10 月 17 日

実施方法：外国人市民への聞取り調査

内　　容：外国人市民へ教育・防災・環境・就労など１２項目に分かれた
　　質問をインタビュー形式で実施。

○犬山市多文化共生推進委員会の設置

日　　程：2018（平成 30）年 2 月 27 日

構　　成：犬山市役所各課

開催回数：１回

○市民からのアンケート調査

日　　程：2018（平成 30）年 12 月 9 日

場　　所：犬山国際観光センター１階　ロビー

内　　容：「フロイデまつり」でブース出展し、犬山市を外国人市民と日本人市民が暮らしやすい所にするために、「これがあると良くなる！」と思うことや、「自分たちが出来ること」をアンケート調査。

フロイデまつりでのアンケート調査の様子

５、基本理念

○互いの文化・習慣・ことばを認め合い、互いに支え合い、誰一人取り残さないまち犬山

６、基本方針

○生活支援

○コミュニケーション支援

○豊かで活力のある多文化共生の地域づくり

７、重点施策

分　野	重点施策
生活支援	①　安心して遊び学ぶための支援 ②　安心して子育てができる子育て支援の充実 ③　外国人市民の緊急時や災害時の対応 ④　外国人市民へのライフステージに応じた継続的な支援
コミュニケーション支援	⑤　情報の多言語化と情報伝達手段の確保 ⑥　日本語及び日本社会に関する学習支援 ⑦　公共施設等での通訳・翻訳システムの充実
豊かで活力のある多文化共生の地域づくり	⑧　多文化共生についての理解促進

1　安心して遊び学ぶための支援

・外国人市民の保護者が日本の保育・教育制度の理解を促す環境整備をする

・外国人市民の子どもたちが、言葉の壁・習慣に悩まず自分らしさを確立できる環境づくり

2　安心して子育てができる子育て支援の充実

・妊娠から育児の間に受けることができる、行政や医療のサービスを知る機会を作り、安心して日本で子どもを育てられるよう支援する

・外国人市民が子育てに関する情報が得られ、相談できるサービスの構築

3　外国人市民の緊急時や災害時の対応

・外国人市民も緊急時や災害時に対応できる環境整備

4　外国人市民へのライフステージに応じた継続的な支援

・外国人市民への切れ目のない継続的なしくみの構築

5　情報の多言語化と情報伝達手段の確保

・日本語を母語としない外国人市民にも理解しやすい情報発信

・外国人市民が得たい情報を手元に届きやすい方法で発信

6　日本語及び日本社会に関する学習支援

・日本語を母語としない外国人市民に対する効果的な日本語教育

・生活に必要な日本社会の基礎知識を習得する機会の提供

7　公共施設等での通訳・翻訳システムの充実

・日本語を母語としない外国人市民に対するコミュニケーション支援

・コミュニティ通訳者派遣・翻訳制度の構築と活用

8　多文化共生についての理解促進

・多文化共生社会の相互理解と差別に対する対応

・多文化共生から生まれ、お互いに得られるものを知る

・外国の文化・習慣を経験できる機会の提供

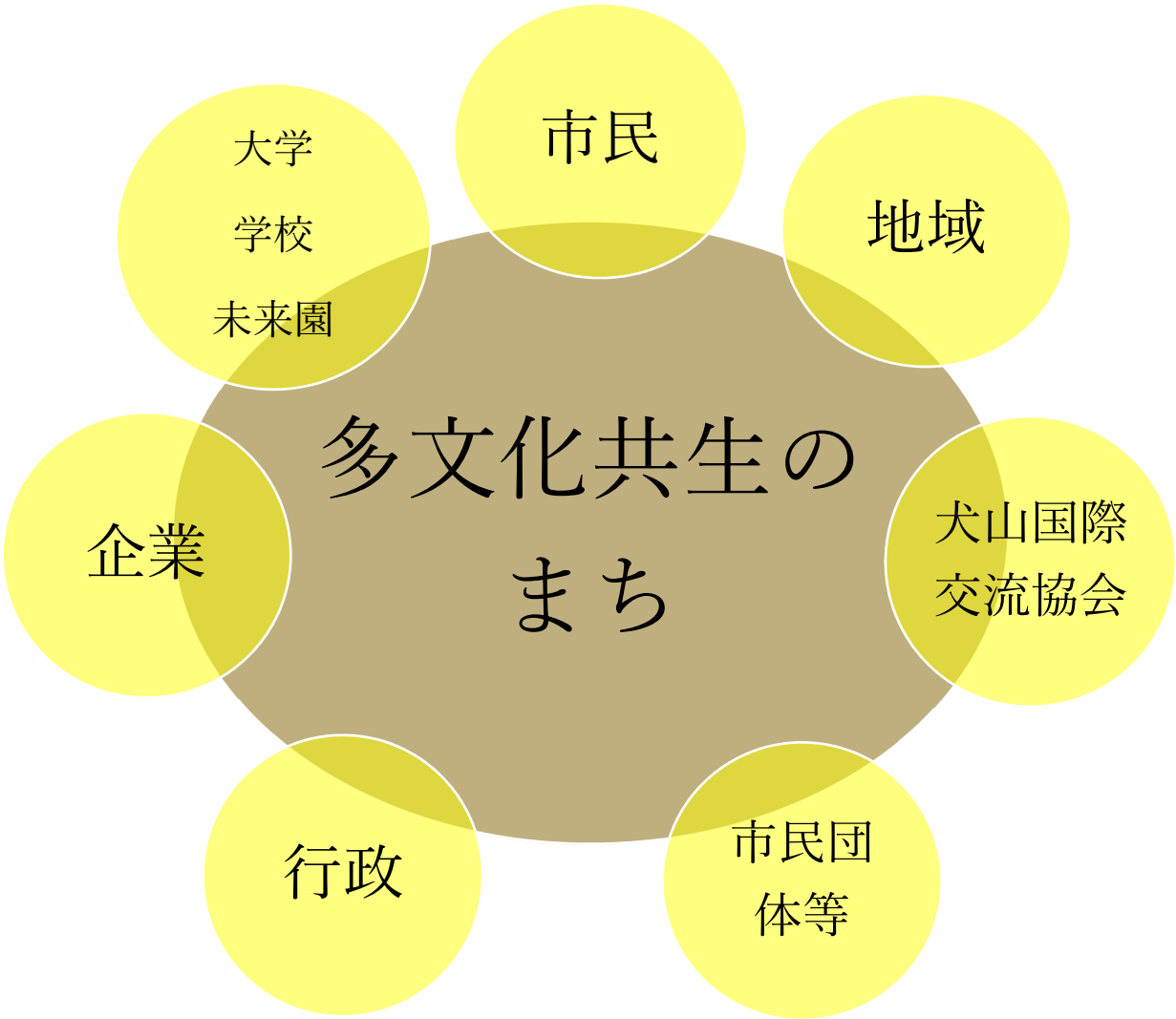
・外国人市民の地域社会への参加促進

職員向け多文化共生研修「文書翻訳編・窓口通訳編」

８、推進体制

「犬山市多文化共生推進ビジョン」を進めるにあたり、「市民」（犬山市多文化共生推進会議）、「行政」（犬山市多文化共生委員会）を軸に、多様な地域資源を「活躍できる場」として設定し、地域の課題を解決するため、多様な主体との連携や協働を行っていきます。

名古屋経済大学や、留学生を支援している団体との協働、地域で外国人の支援をしている団体と情報共有を行うことにより、本ビジョンを推進していきます。



《 資　料　編 》

○犬山市多文化共生推進会議規則

平成29年３月27日規則第15号

犬山市多文化共生推進会議規則

（趣旨）

第１条　この規則は、犬山市附属機関設置条例（平成28年条例第36号）第８条の規定に基づき、犬山市多文化共生推進会議（以下「推進会議」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員）

第２条　推進会議の委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

（１）　学識経験者

（２）　外国籍を有する市民を代表する者

（３）　日本国籍を有する市民を代表する者

（４）　多文化共生に関わる活動を行う団体の職員

（５）　外国人雇用に関わる企業の職員

（６）　外国人と関わりのある公共機関等の職員

（７）　その他市長が必要と認める者

（会長及び副会長）

第３条　推進会議に、会長及び副会長を置く。

２　会長は、委員の互選により定める。

３　副会長は、会長の指名により定める。

４　会長は、推進会議を代表し、会務を総理する。

５　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（招集及び議事）

第４条　推進会議は、必要に応じて会長が招集する。ただし、会長及びその職務を代理する者が在任しないときの推進会議は、市長が招集する。

２　会長は、推進会議の議長となる。

３　推進会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことが

できない。

４　推進会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

５　推進会議は、会長が必要があると認めるときは、委員以外の者に出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

（庶務）

第５条　推進会議の庶務は、経済環境部観光交流課において行う。

（補則）

第６条　この規則に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附　則

１　この規則は、平成29年４月１日から施行する。

２　第３条第２項の規定にかかわらず、廃止前の犬山市多文化共生推進会議設置要綱（平成27年12月16日施行）に基づく犬山市多文化共生推進会議の会長であった者は、この規則の施行の日に推進会議の会長として定められたものとみなす。

犬山市多文化共生推進会議委員名簿

【任期】2018（平成30）年1月24日～2020（平成32）年1月23日

	氏名（敬称略）	所属	区　分	備考
1	小島　祥美	愛知淑徳大学 交流文化学部 准教授	学識経験者	
2	加藤　エジナ		外国籍を有する市民	
3	森川　パトリシア		外国籍を有する市民	
4	平古場　招燕		日本国籍を有する市民	
5	浅野　賢三	市民代表	日本国籍を有する市民	
6	伊藤　彰	楽田コミュニティ 推進協議会 副会長	日本国籍を有する市民	
7	奥村　英俊	犬山国際交流協会 会長	多文化共生関係団体	
8	松本　里美	特定非営利活動法人 シェイクハンズ 代表理事	多文化共生関係団体	
9	清長　摩知子	特定非営利活動法人 アジャスト 副代表理事	多文化共生関係団体	
10	太田　由美	子ども未来園 園長代表 楽田子ども未来園園長	公共機関等	
11	間宮　明彦	校長会代表 楽田小学校校長	公共機関等	
12	齊慶　辰也	校長会代表 南部中学校校長	公共機関等	
13	坪井　啓太	名古屋経済大学 国際交流室	公共機関等	

犬山市多文化共生推進会議について

平成27年度

第1回　多文化共生推進会議の実施
日　時　2015（平成27）年12月21日（月）
議題等　〇委員の紹介
〇委員長、副委員長の選任
〇議題
・犬山市の多文化共生に関係する情報
・犬山市の多文化共生に関する取組み
・犬山市多文化共生推進会議の今後について

第2回　多文化共生推進会議の実施
日　時　2016（平成28）年3月4日（金）
議題等　〇議題
・犬山市の多文化共生に関係する情報
・小中学校における多文化共生について

平成28年度

第3回　多文化共生推進会議の実施
日　時　2016（平成28）年10月26日（木）
議題等　〇議題
・犬山市の多文化共生に関係する情報
・「多文化共生とは」についての意見交換

第4回　多文化共生推進会議の実施
日　時　2017（平成29）年3月1日（水）
議題等　〇議題
・多文化共生の取組みに関係する情報
（情報交換）
・今後の犬山市多文化共生推進会議について

平成29年度

〇犬山市多文化共生推進会議委員の選任
⇒委嘱

（第1回）2018（平成30）年2月13日（火）
〇犬山市多文化共生推進会議
・正副会長の選任
・犬山市の現状把握について
（基礎データ、事業などを示す）
・今後の見通しについての予測
・ビジョンの基本方針の提案と、ビジョンづくりのプロセスについて
⇒用語の整理、プロセスの説明、スケジュールの提示

意見、提案

〇多文化共生の現状把握
・基礎データの提示（国籍別人口、在留資格別人口、年齢別人口、犬山市の実施事業など）
・庁内会議の開催(H30.2月開催)
⇒外国人住民の窓口での課題と、今後の取組みについて
・外国人住民の基礎調査
・相談窓口の相談案件の統計
⇒多文化共生推進員企画事業
外国人相談窓口の開設など

〇ビジョンの素案
【基本方針】
・生活支援
・コミュニケーション支援
・多文化共生の地域づくり
・豊かで活力のある地域づくり
※第3次あいち多文化共生推進プランと連携（愛知県）

（第2回）2018（平成30年）3月29日（木）
〇犬山市多文化共生推進会議
・ビジョンについての議論
・庁内会議や取組みの方向性について
・外国人住民の基礎調査について
・情報の提供・共有、意見交換

報告、反映

平成30年度

（第3回）2018（平成30）年7月30日（月）
〇犬山市多文化共生推進会議
・ビジョンの目標について
⇒実態調査の結果を踏まえて、将来目標、基本目標の設定
・基本方針に基づくプログラム、プロジェクトの計画
・情報の提供・共有、意見交換

意見、提案

〇基本方針に基づく事業の計画
・生活支援
・コミュニケーション支援
・多文化共生の地域づくり
・豊かで活力のある地域づくり

〇担い手ごとの役割分担を意識
・自治体内
・自治体間
・NPO団体
・その他の地域団体

〇目標とする状態の設定
・推進会議内で設定

（第4回）2018年（平成30）年10月22日（月）
〇犬山市多文化共生推進会議
・ビジョン全体の検討（諮問）
・情報の提供・共有、意見交換

報告、反映

（第5回）2019（平成31）年3月18日（月）
〇犬山市多文化共生推進会議
・ビジョンの答申
・情報の提供・共有、意見交換

犬山市多文化共生推進ビジョンの完成とプロジェクトの実施

答申

犬山市多文化共生推進ビジョンの完成

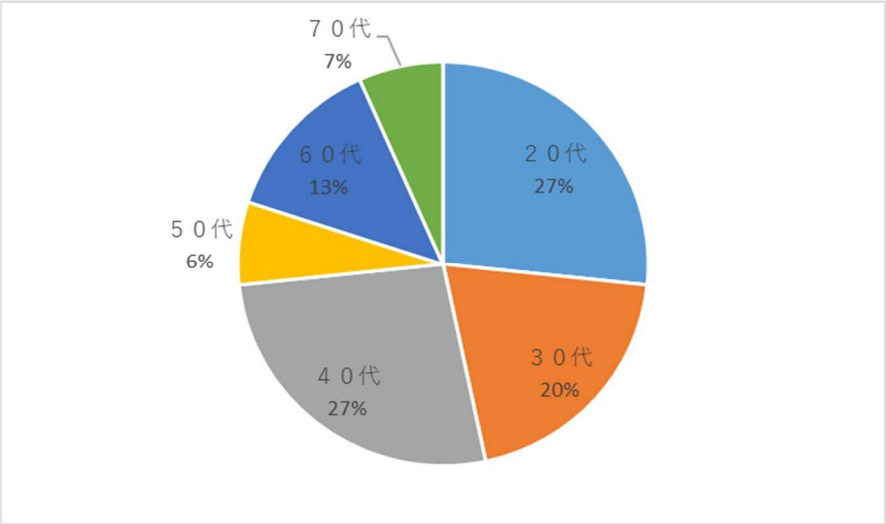
外国人市民基礎調査結果

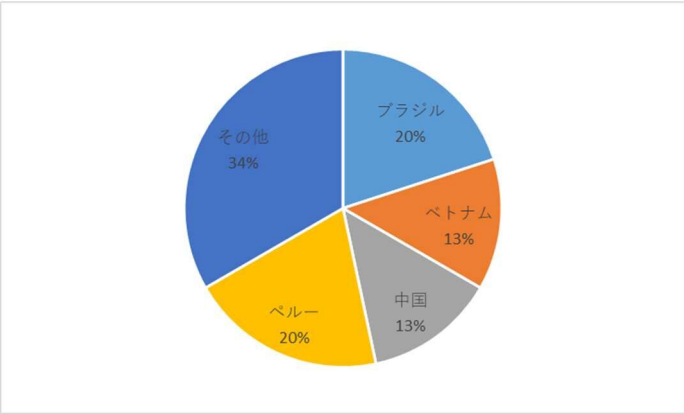
１，調査概要

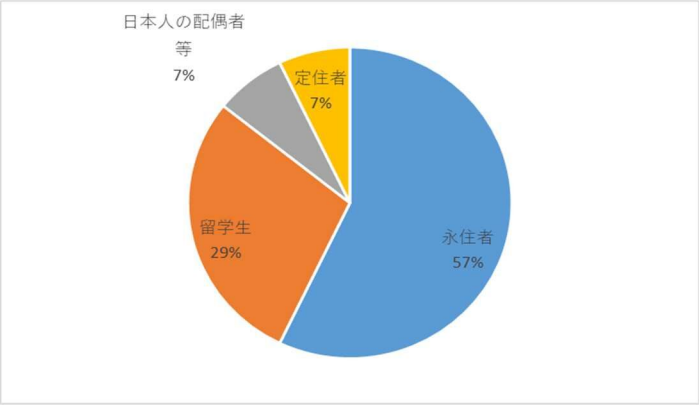
調査目的	外国人住民の現状及び課題、ニーズを把握し犬山市多文化共生推進ビジョンに反映するため。
調査対象	市内在住（※）の外国人市民。 （※）一部、市外に転出した人や近接する自治体も可。
調査期間	２０１８（平成３０）年７月４日（水）～１０月１７日（水）
回答数	・大人・・・１５人 ・子供・・・１０人（１８歳以下）
調査方法	インタビュー形式で実施。聞取り担当者（多文化共生推進員、観光交流課職員、ＮＰＯなど）２名により行う。 日本語がわからない人には通訳を付けて実施。

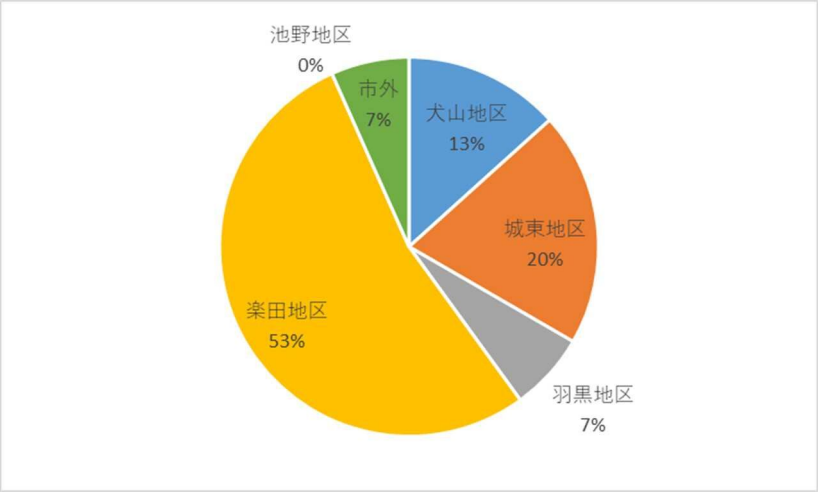
２，調査結果

１、年代		
１０代	０人	
２０代	４人	
３０代	３人	
４０代	４人	
５０代	１人	
６０代	２人	
７０代	１人	
合計	１５人	



２、国籍		
ブラジル	３人	
ベトナム	２人	
中国	２人	
ペルー	３人	
その他	５人	
合計	１５人	

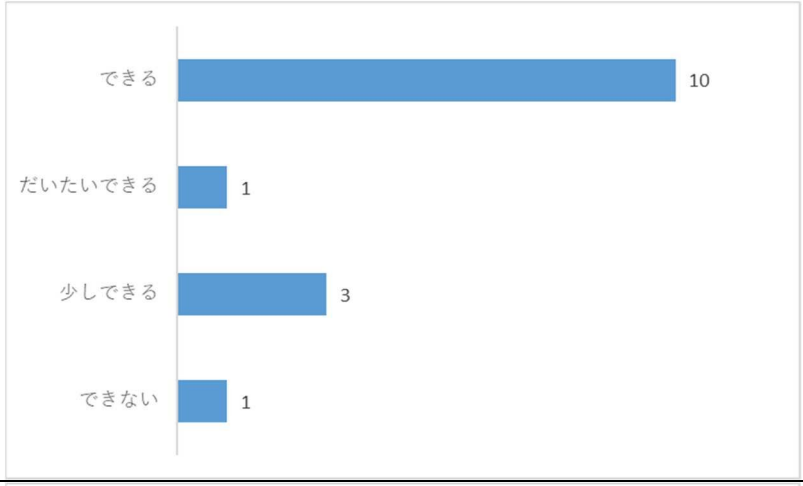
３、在留資格		
永住者	８人	
留学生	４人	
日本人の配偶者等	１人	
定住者	１人	
合計	１４人	

４、現在住んでいるところ		
犬山地区	２人	
城東地区	３人	
羽黒地区	１人	
楽田地区	８人	
池野地区	０人	
市外	１人	
合計	１５人	

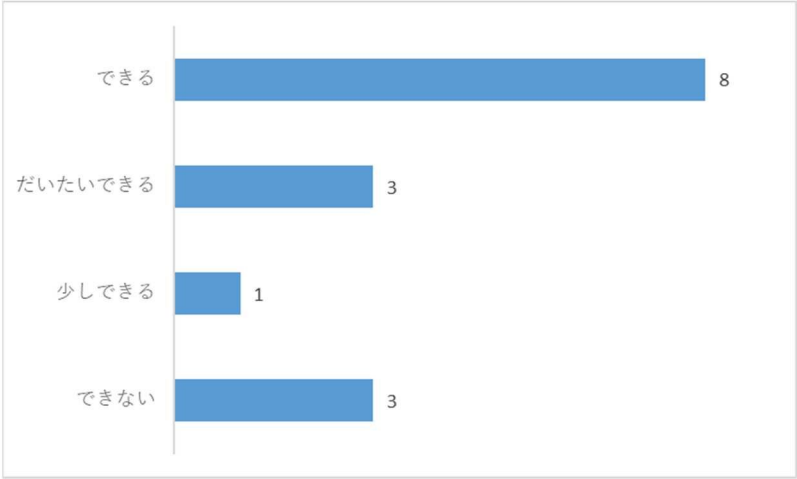
５、日本語運用能力

●インタビュー者が相手の受け答えを見て、記入してください。

聞く	できる	１０人
	だいたいできる	１人
	少しできる	３人
	できない	１人
	合計	１５人

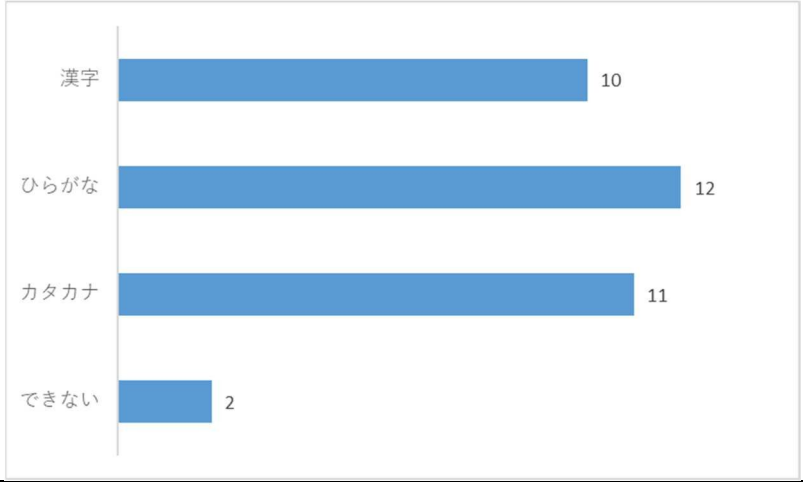


話す	できる	８人
	だいたいできる	３人
	少しできる	１人
	できない	３人
	合計	１５人



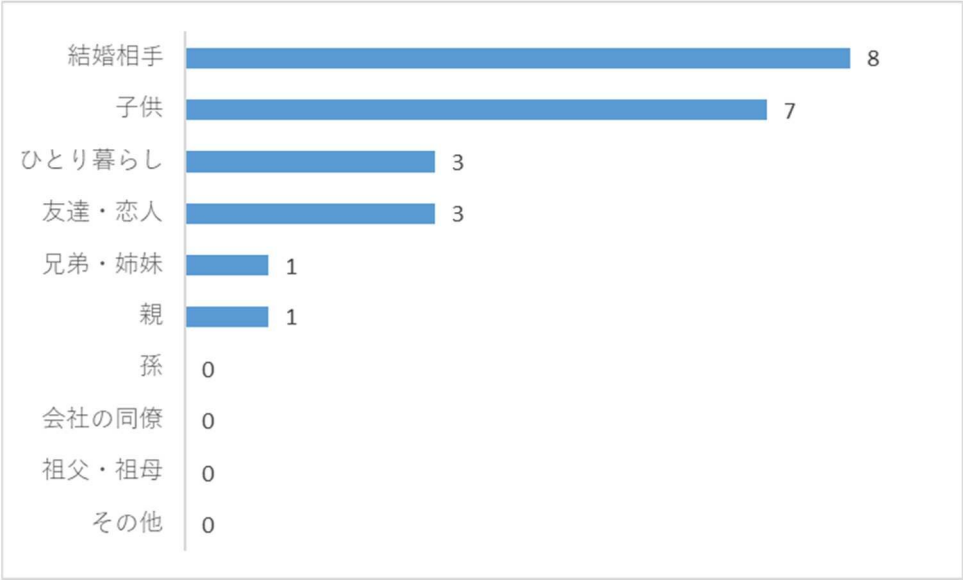
●あなたは、どの文字を読むことができますか

読む	漢字	１０人
	ひらがな	１２人
	カタカナ	１１人
	できない	２人

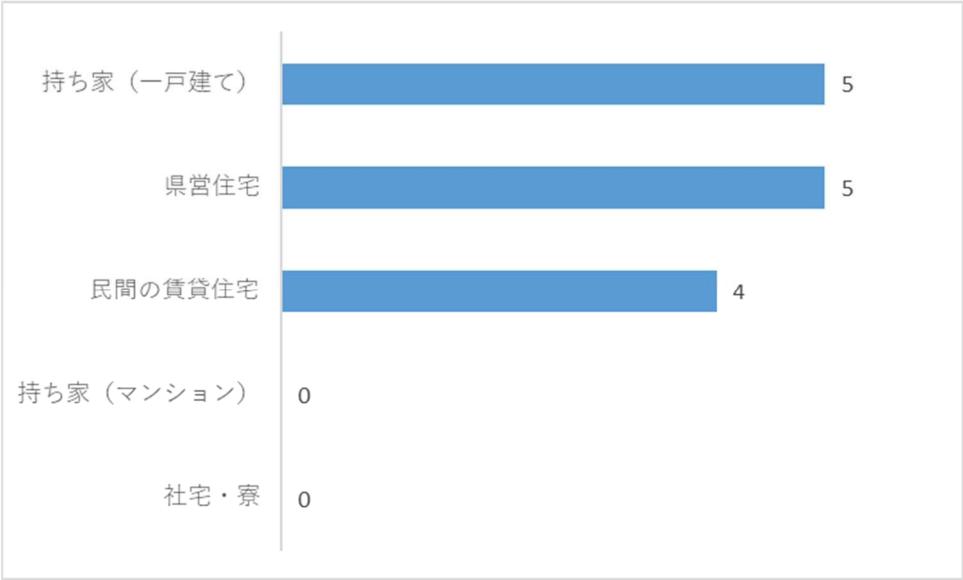


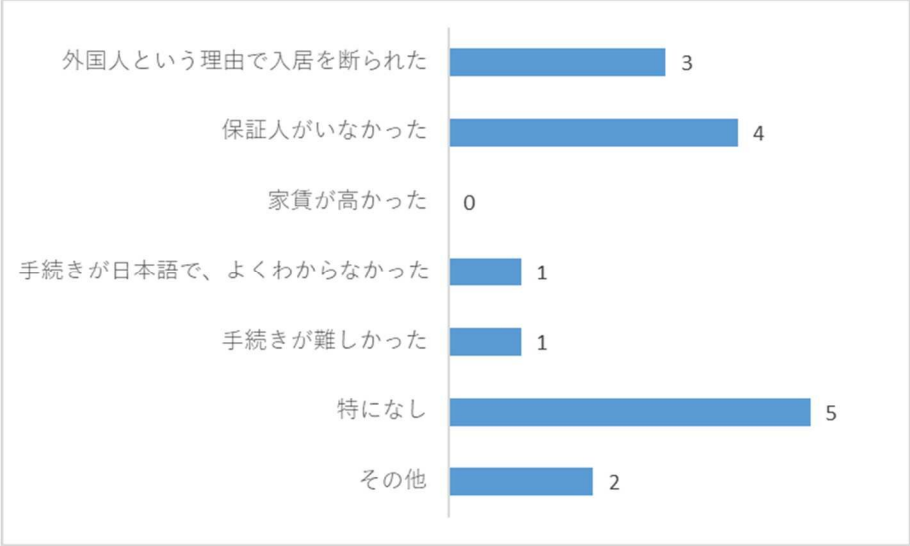
６、あなたが生まれた国はどこですか	
日本	０人
日本以外	１５人
合計	１５人

７、あなたは、現在誰と住んでいますか	
結婚相手	８人
子供	７人
友達・恋人	３人
ひとり暮らし	３人
親	１人
兄弟・姉妹	１人
孫	０人
会社の同僚	０人
祖父・祖母	０人
その他	０人



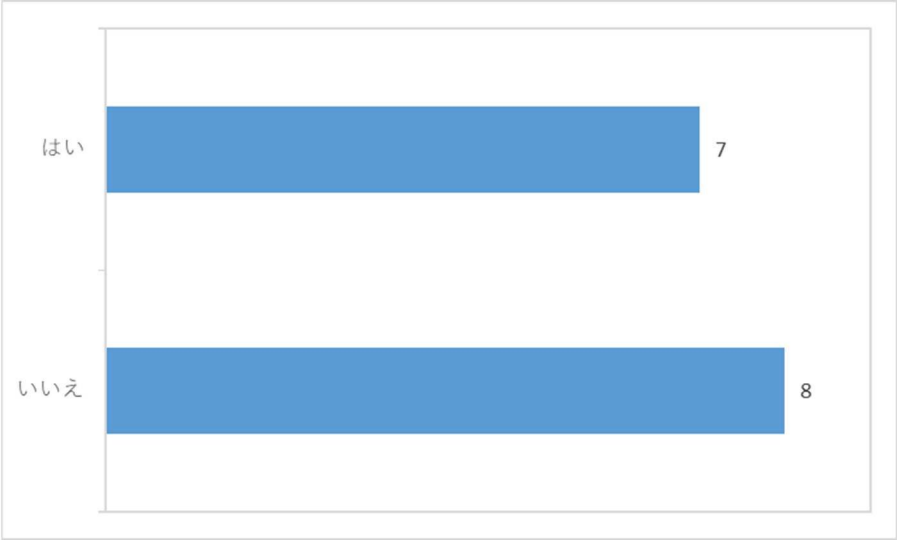
８、あなたは現在どのような家にすんでいますか	
持ち家（一戸建て）	５人
県営住宅	５人
民間の賃貸住宅	４人
持ち家（マンション）	０人
社宅・寮	０人



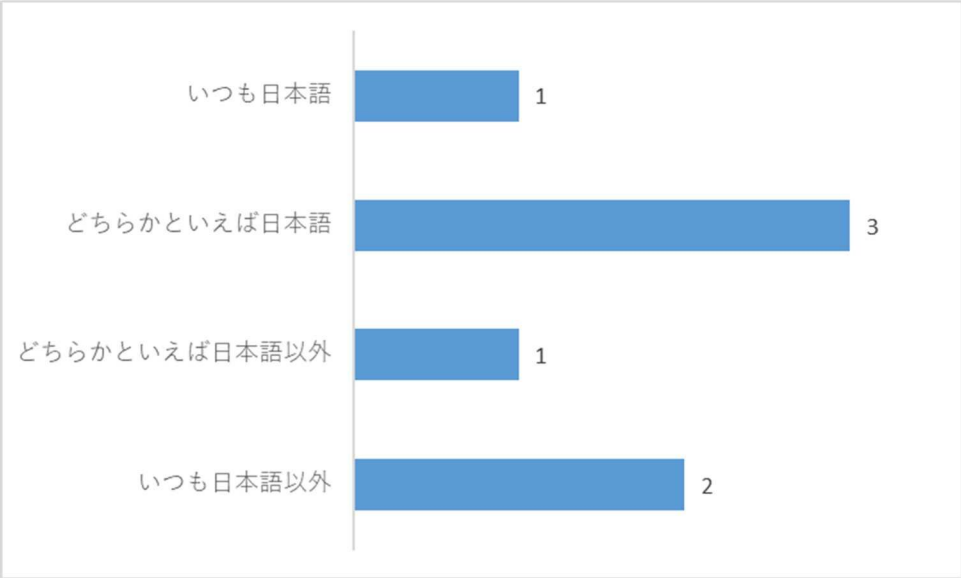
９、家を探したときに、困ったことはありますか（あてはまるものすべて）		
外国人という理由で入居を断られた	３人	
保証人がいなかった	４人	
家賃が高かった	０人	
手続きが日本語で、よくわからなかった	１人	
手続きが難しかった	１人	
特になし	５人	
その他	２人	

１０、どのようなサポートがあれば、家探しがスムーズになると考えますか？
・通訳のサポート ・通訳や日本の制度を説明されれば安心して借りられる ・手続きは特に不便はないが、減免や収入にあわせてのサポートを知らなかった、更新時期のペナルティ知らなかったので、内容を理解できるような通訳、翻訳サポートが必要 ・外国人への理解。一軒家に住みたかったが外国人という理由で断られた。見た目が日本人なので説明を受けられたが、書類を見ると断られた。 ・家賃や契約内容を理解するために、言葉のサポート。 ・保証人が立てられないので、そのサポート。 ・住宅情報誌や、契約書の翻訳。

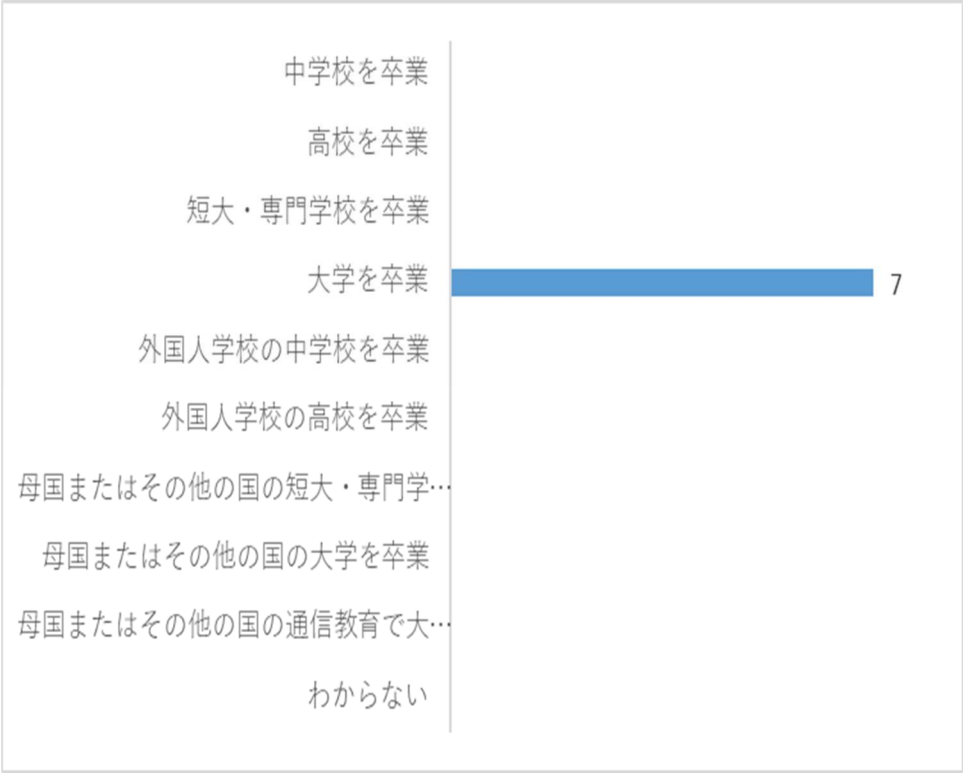
１１、あなたは１８歳以下の子供がいますか	
はい	７人
いいえ	８人
合計	１５人



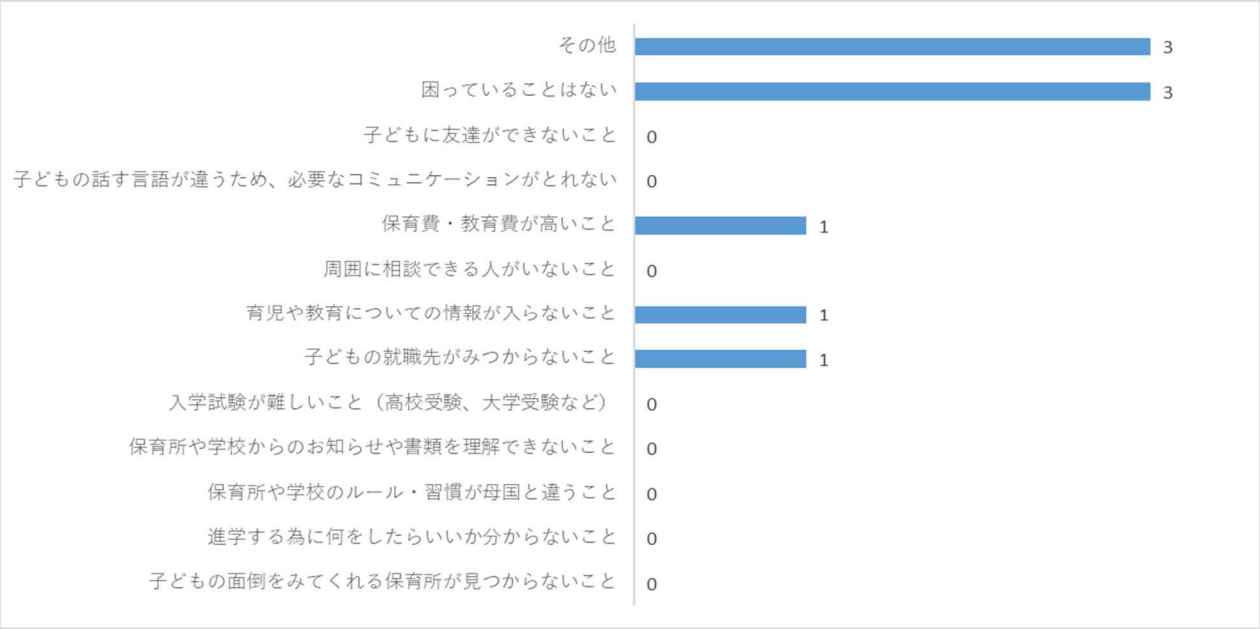
１２、あなたは子供と何語で話しますか	
いつも日本語	１人
どちらかといえば日本語	３人
どちらかといえば日本語以外	１人
いつも日本語以外	２人
合計	７人



１３、あなたは、子供にどこまで進学させることを考えていますか	
中学校を卒業	
高校を卒業	
短大・専門学校を卒業	
大学を卒業	7人
外国人学校の中学校を卒業	
外国人学校の高校を卒業	
母国またはその他の国の短大・専門学校を卒業	
母国またはその他の国の大学を卒業	
母国またはその他の国通信教育で大学を卒業	
わからない	
合計	7人



１４、子育てに関して困っていることはありますか



その他

・経済的な面、下の子の発達。性格なのか年齢なのか外国人なのかがわからないが姉の居場所がない。
・学校の案内の重要度が分かりにくい。優先順位に印があるといい。
・学校へ気軽に相談できるよう通訳がいるといい。どこに相談したら良い事や、すぐに相談したいケースがある。
・言葉がわかるようになってから子供をつくった。
・３カ月前に日本に来た。言葉の壁、覚えられない。どこにも行けない。
・大事な手紙にはフリガナを付けて欲しい。外国人が少ない小学校なので通訳がいない。
・学費について

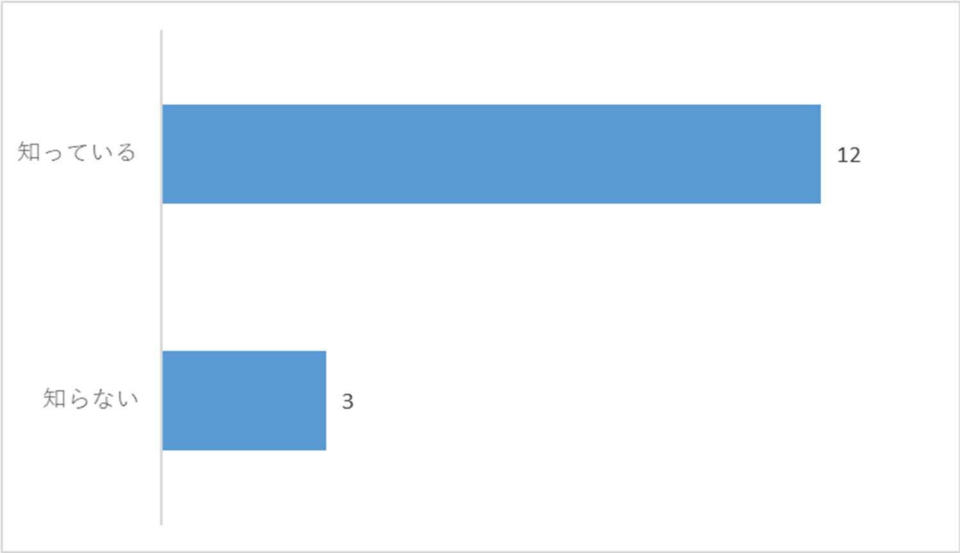
１５、普段、子育てについて誰に相談していますか

・夫や母など、身近にいる。ママ友はいない。通っている保育園にブラジル人がいない。
・友人同士で出来事を話すことはあるが、相談はしない。
・コミュニティで話していたが、情報が筒抜け。いまは、いとこに相談。
・いない、夫にも話さない。
・日系の友達
・ママ友
・来日したばかりで、まだ何が悩みかもわからない。

１６、どんなサポートがあれば、日本で子育てしやすいですか
・娘が汗をかくので、学校へデオドラント製品をもっていきたがるが禁止される。禁止されることで悪い面に出ている。 ・病院など専門的な話を場面で通訳があったほうが良い。 ・コミュニケーションがとれて、悩みが発散できる場所。 ・運動会、スポーツ少年団、部活でママ友ができるようなサポート

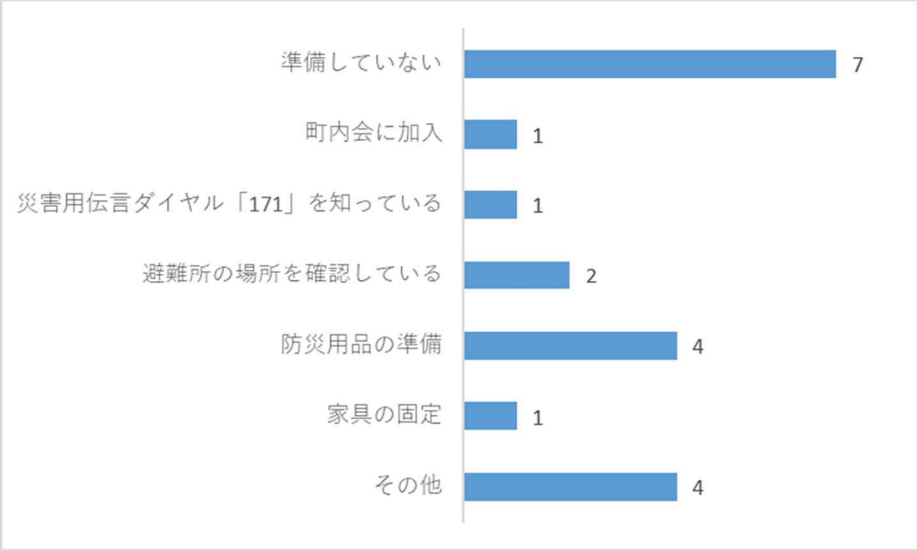
１７、あなたは、南海トラフ地震の事を知っていますか。

知っている	１２人
知らない	３人
合計	１５人



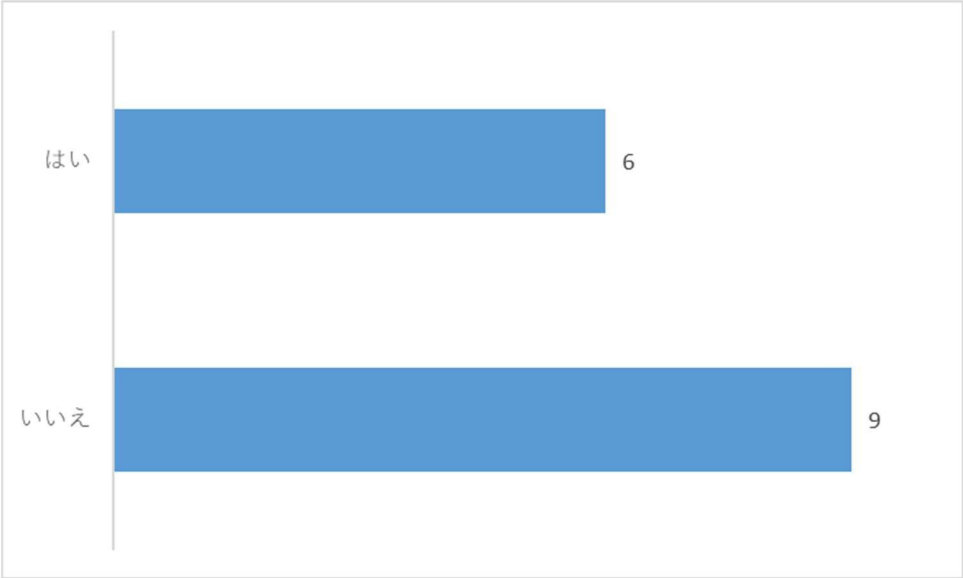
１８、あなたは、災害に備えて普段から準備していることはありますか

準備していない	７人
町内会に加入	１人
災害伝言用ダイヤル「171」を知っている	１人
避難所の場所を確認している	２人
防災用品の準備	４人

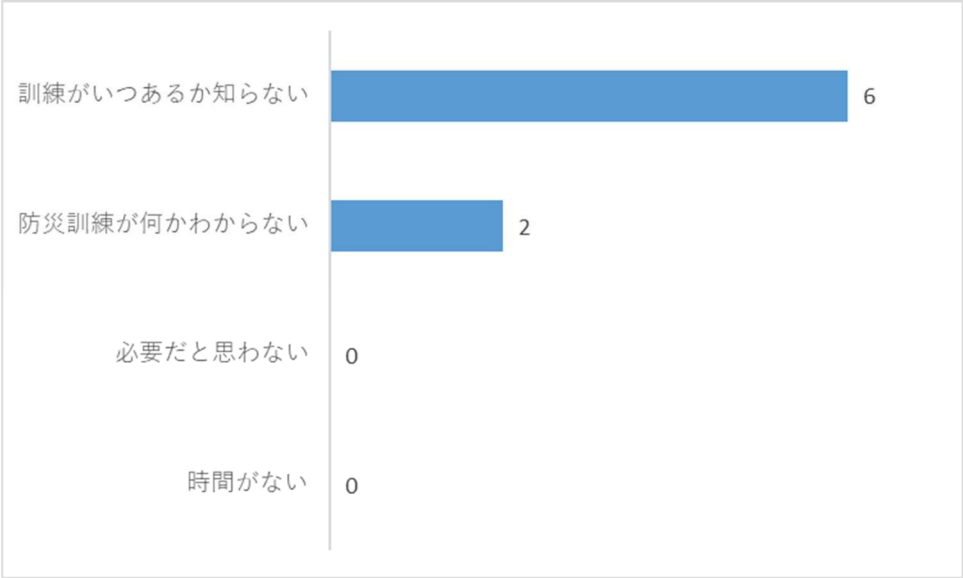


家具の固定	１人	
その他	４人	
合計	２０人	

その他
・どこの学校で会うかを家族と約束している。 ・子供は学校にいるので何とかなるが母が車いすで心配 ・以前は防災用品を置いていたが、更新はしていない ・荷物を高いところにおかない、コンテナに水を用意している。普段からコミュニケーションを取っている。

１９、あなたは防災訓練に参加したことがありますか		
はい	６人	
いいえ	９人	
合計	１５人	

２０、１９で「いいえ」と答えた方へ質問します		
訓練がいつあるか知らない	６人	
防災訓練が何かわからない	２人	
必要だと思わない	０人	
時間がない	０人	

合計	８人	

２１、どんな訓練だったら参加しやすいですか

・消火器の使い方が知りたい。エレベーターのない高層階からの避難方法
・日付が合えば
・参加の仕方がわからないので住んでいる地域にお知らせして欲しい。チラシが翻訳してある。
・土日に開催。
・楽しく遊び心のあるものなら参加したい。
・休日に災害に合った場合の訓練をやってみたい。
・初めて聞く言葉が多そうだから通訳が付いている。知り合いと一緒に参加できる。

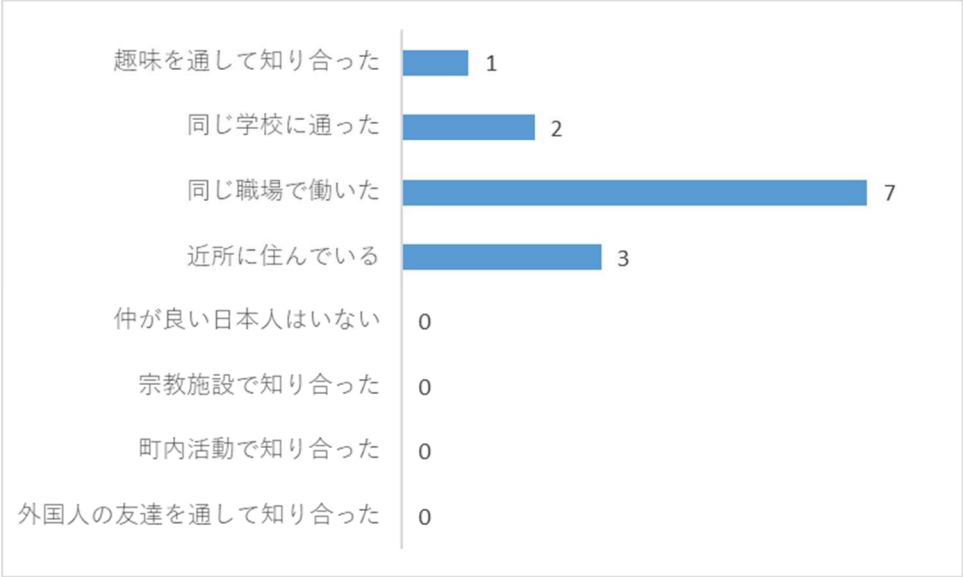
２２、１９で「はい」と答えた方へ質問します。どこで、訓練に参加しましたか

・会社で毎週月曜日に実施していた。最初は必要ないと思って訓練に参加していなかったが、日本人の上司が大切さを教えてくれた。
・日本語学校で参加した。大学では災害についての説明を受けている。
・日本語学校で地震を想定した訓練に参加。（机の下にもぐる）
・会社の訓練に参加している。

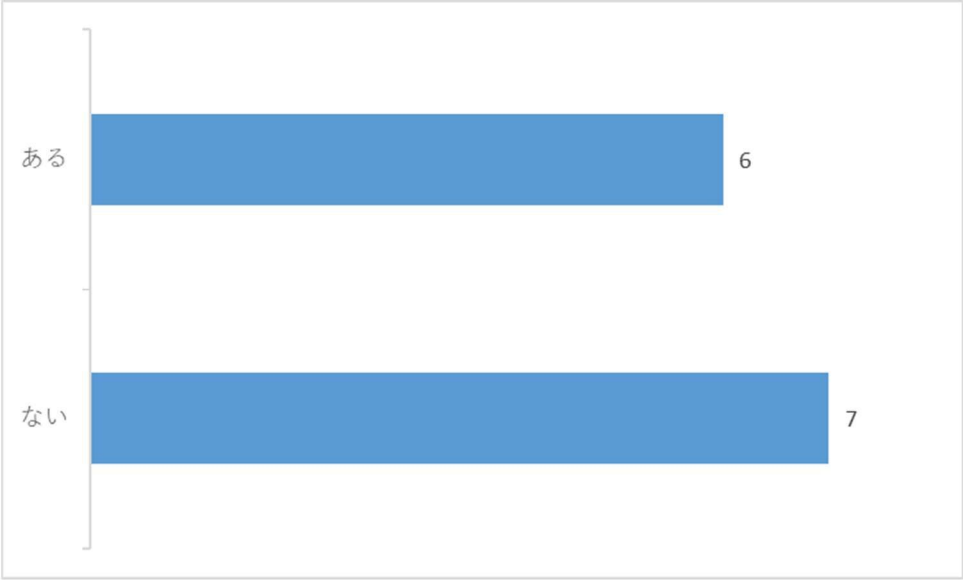
２３、あなたは日本人の知り合いがいますか

・先生、会社の人など友人ほどではないがいる。
・いる。いとこを通じて日本人の友人ができた。
・隣近所。花や料理などをおすそ分け。
・職場だけ、近所にはいない。挨拶をする程度。
・犬山地区に住んでいるが、楽田小に通っている。先生とまずは仲良くしている。
・昔は友人がいたが、今はあっていない。あいさつ程度の人はいる。
・アルバイト先の人
・学校の友人

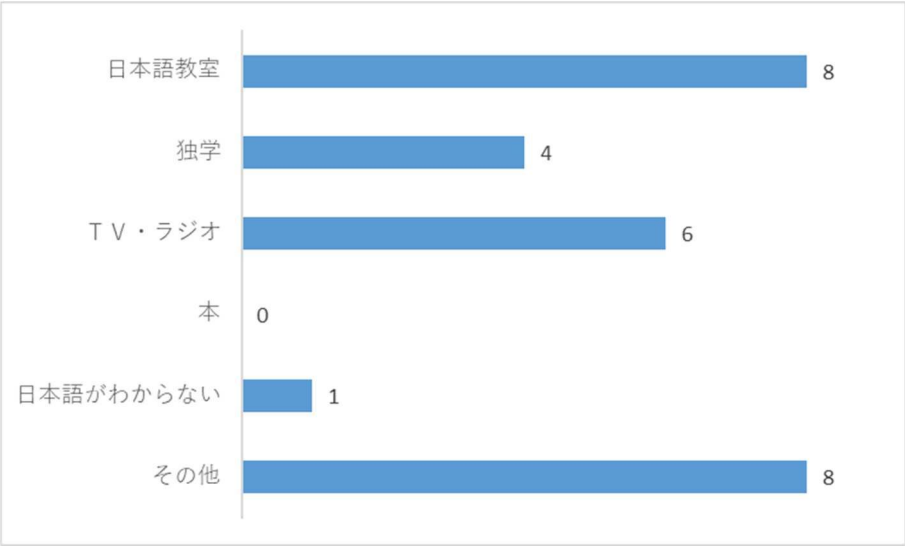
２４、あなたは、どのようなきっかけで日本人と仲良くなりましたか		
趣味を通して知り合った	１人	
同じ学校に通った	２人	
同じ職場で働いた	７人	
近所に住んでいる	３人	
仲が良い日本人はいない	０人	
宗教施設で知り合った	０人	
外国人の友達を通じて知り合った	０人	
合計	１３人	



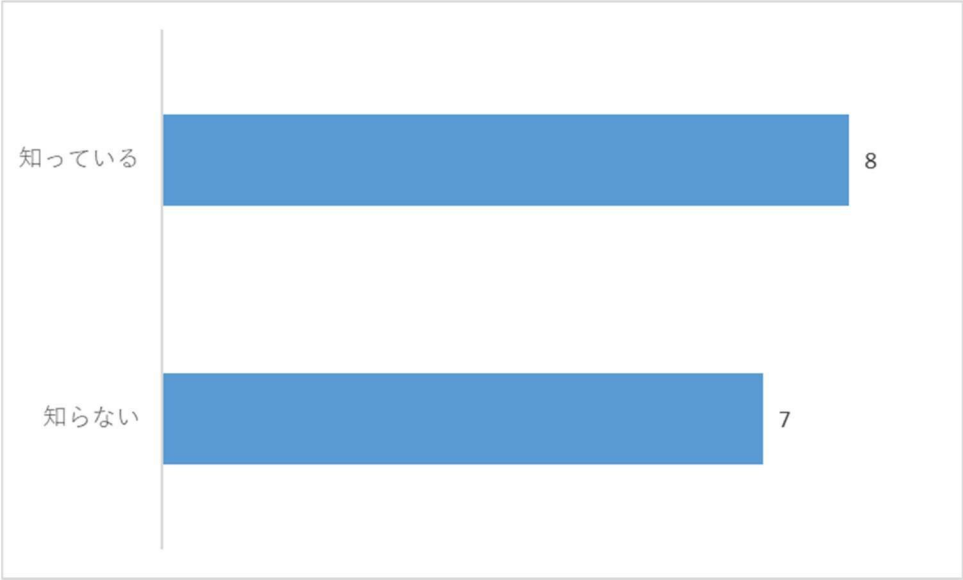
２５、あなたは、多言語情報誌「犬山ニュースレター」を読んだことがありますか		
ある	６人	
ない	７人	
合計	１３人	



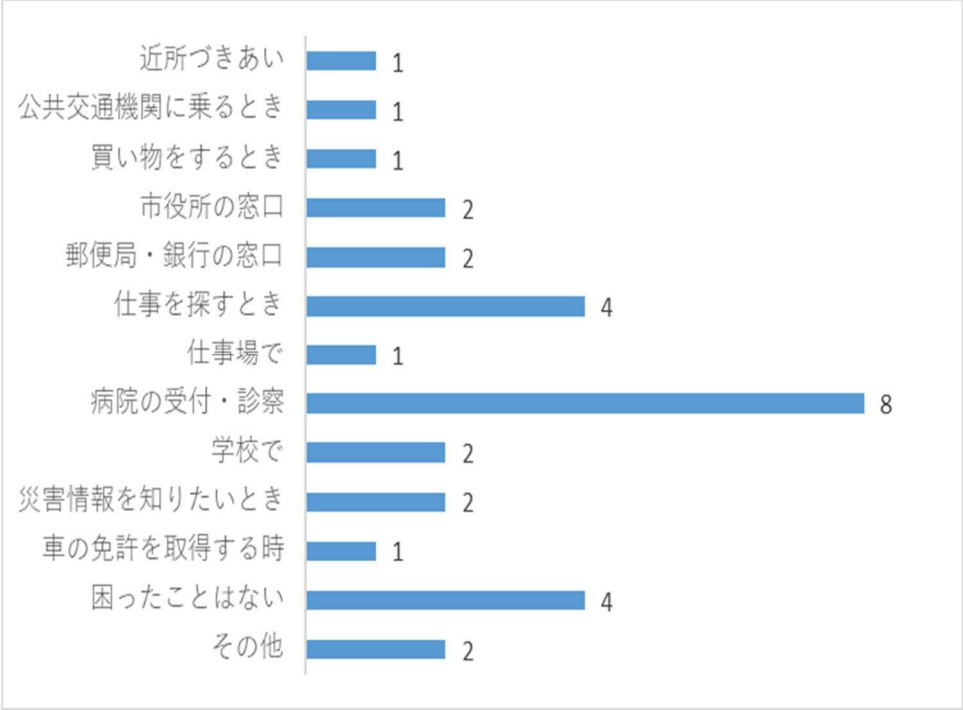
２６、あなたは、日本語を何で（どこで）覚えましたか	
日本語教室	８人
独学	４人
TV・ラジオ	６人
本	０人
日本語がわからない	１人
その他	８人
合計	２７人



２７、あなたは、犬山日本語教室を知っていますか	
知っている	８人
知らない	７人
合計	１５人



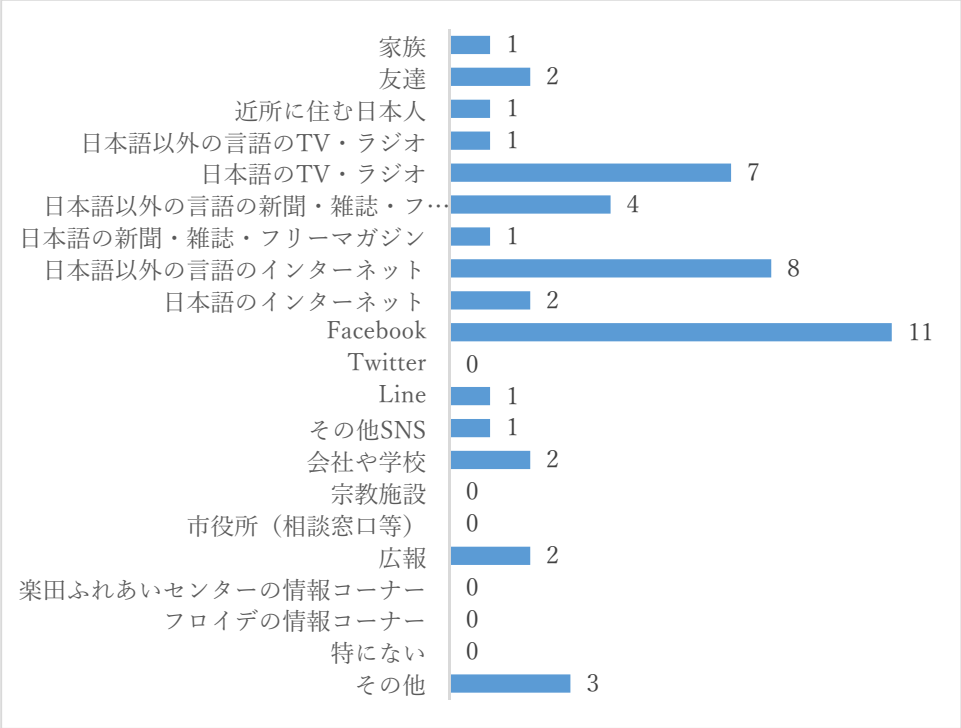
２８、あなたは、どんな時に日本語で困りますか。	
近所づきあい	１人
公共交通機関に乗るとき	１人
買い物をするとき	１人
市役所の窓口	２人
郵便局・銀行の窓口	２人
仕事を探すとき	４人
仕事場で	１人
病院の受付・診察	８人
学校で	２人
災害情報を知りたいとき	２人
車の免許を取得する時	１人
困ったことはない	４人
その他	２人
合計	３１人



その他

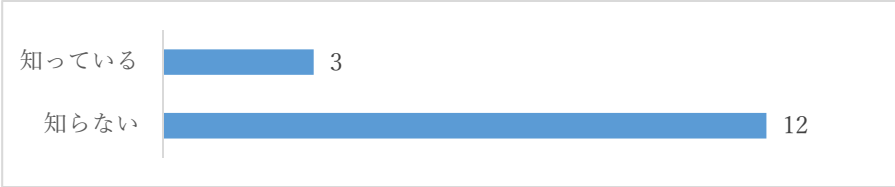
・事故にあった時、専門的な話のときに困る。
・手続きなど専門用語が出てくる時に困る。
・全部
・病院の診察は専門用語が多い。命にかかわるので困る。
・病院で使用する言葉が難しい。不安になる。
・病気の時、自分の症状を伝える時が難しい。

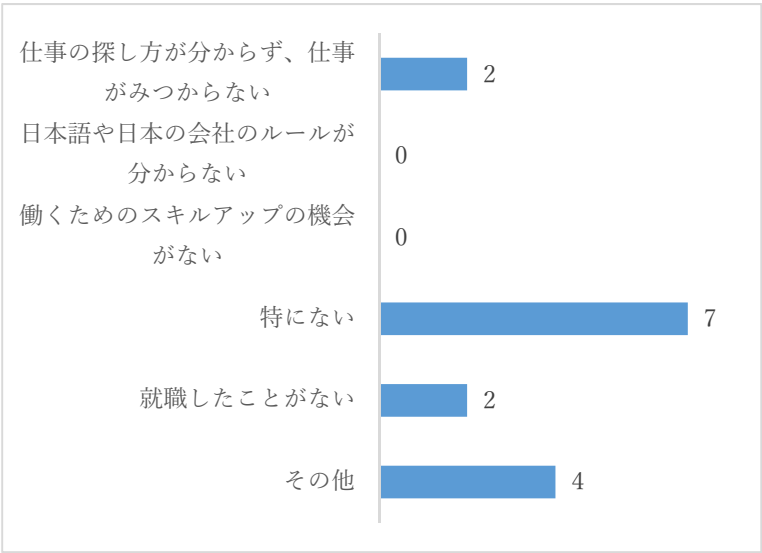
２９、あなたは、どうやって生活に必要な情報を得ていますか（あてはまるものすべてに）	
家族	１人
友達	２人
近所に住む日本人	１人
日本語以外の言語のTV・ラジオ	１人
日本語のTV・ラジオ	７人
日本語以外の言語の新聞・雑誌・フリーマガジン	４人
日本語の新聞・雑誌・フリーマガジン	１人
日本語以外の言語のインターネット	８人
日本語のインターネット	２人
Facebook	１１人
Twitter	０人
Line	１人
その他 SNS	１人
会社や学校	２人
宗教施設	０人
市役所（相談窓口等）	０人



広報	２人	
楽田ふれあいセンターの情報コーナー	０人	
フロイデの情報コーナー	０人	
特にない	０人	
その他	３人	
合計	４７人	

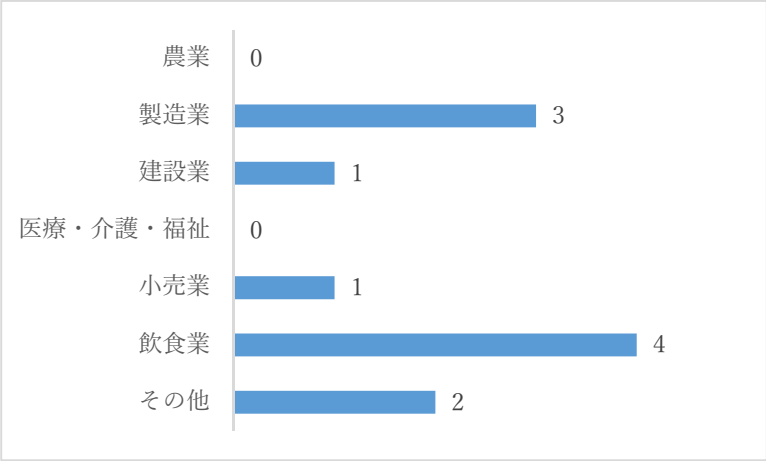
その他
・メルカドララティー雑誌→Facebook につながる。登録すると情報を送ってくれる。スペイン語で災害情報など。 ・お客さんの口コミ。Facebook の情報を確かめるため TV を見る。 ・回覧板

３０．あなたはコミュニティ通訳を知っていますか。		
知っている	３人	
知らない	１２人	
合計	１５人	

３１．あなたは就職や転職に関して困っていることはありますか。		
仕事の探し方が分からず、仕事がみつからない	２人	
日本語や日本の会社のルールが分からない	０人	
働くためのスキルアップの機会がない	０人	
特にない	７人	
就職したことがない	２人	
その他	４人	
合計	１５人	

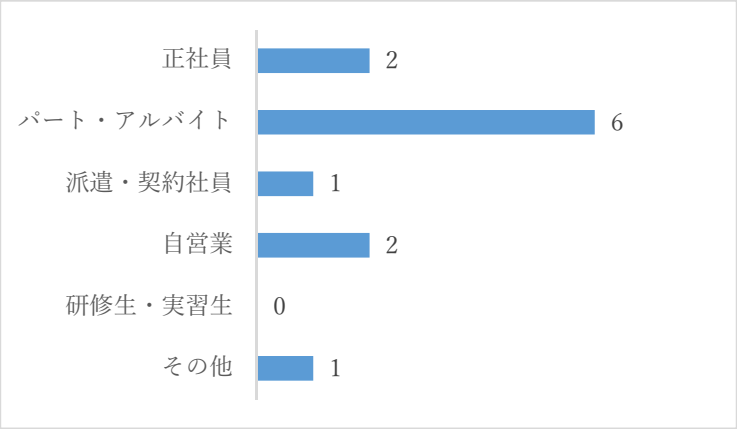
その他
・安定しない。点々と職を変えている。雇用期間が１か月と知って入る。今は定時パートの仕事を探している。長い間働ける仕事は言葉ができないとだめ。 ・どこに行けばよいかわからない。 ・家から近い場所のバイトが見つからなかった。 ・アルバイト先が少ないので探すのが困った。交通費支給が少ない。バイトの種類が少ない。 ・自分に合う仕事を見つけるのが難しい。工場での肉体労働がきつい。いじめがあった。４人で入って３人がやめた。

３２．あなたは現在どんな仕事をしていますか。	
農業	０人
製造業	３人
建設業	１人
医療・介護・福祉	０人
小売業	１人
飲食業	４人
その他	２人
合計	１１人



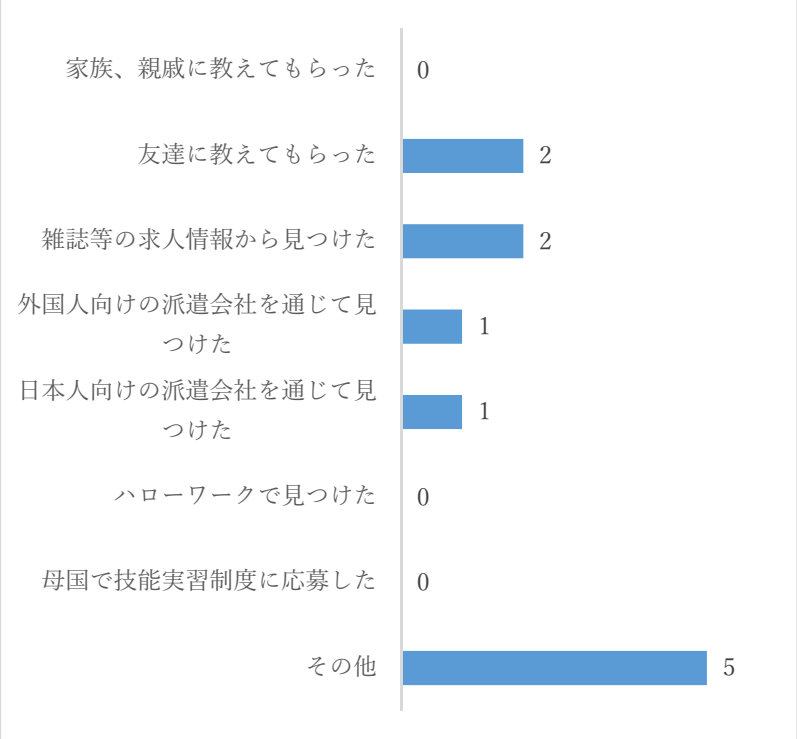
その他
・教育、学校での通訳 ・求人業

３３．あなたはどんな雇われ方をしていますか。	
正社員	２人
パート・アルバイト	６人
派遣・契約社員	１人
自営業	２人
研修生・実習生	０人
その他	１人
合計	１２人



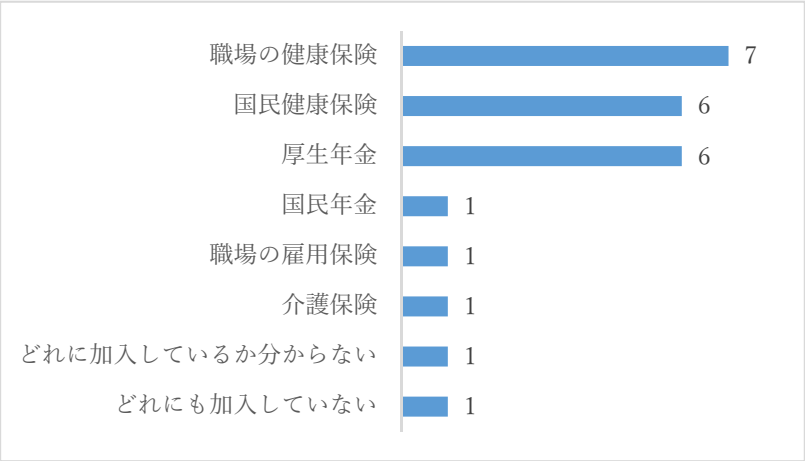
その他
・子育てで育休中

３４．あなたは、どんな方法で仕事先を見つけますか。	
家族､親戚に教えてもらった	０人
友達に教えてもらった	２人
雑誌等の求人情報から見つけた	２人
外国人向けの派遣会社を通じて見つけた	１人
日本人向けの派遣会社を通じて見つけた	１人
ハローワークで見つけた	０人
母国で技能実習制度に応募した	０人
その他	５人
合計	１１人

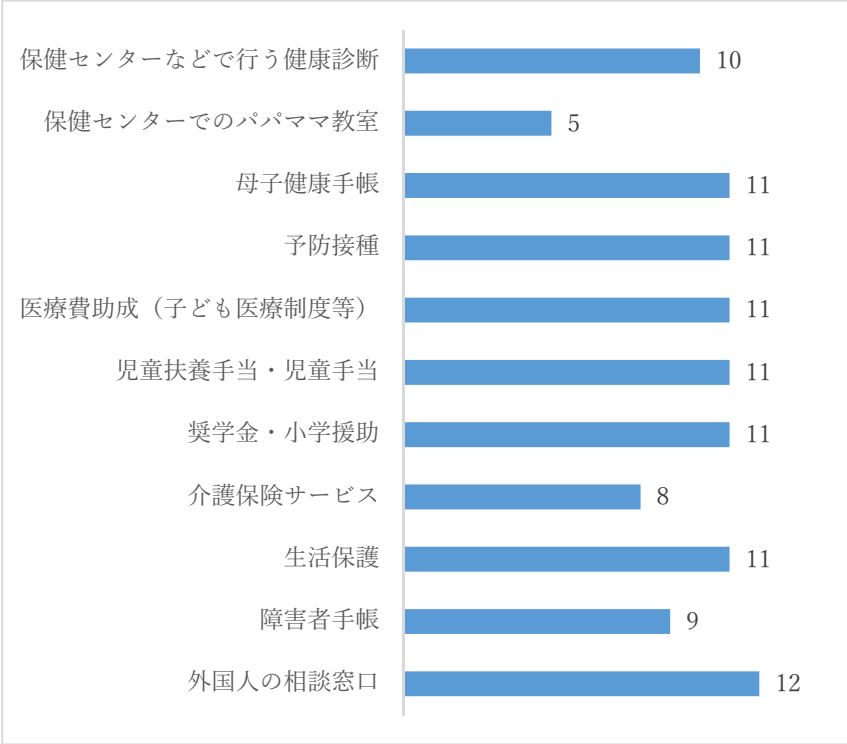


その他
・前に働いていたところの紹介 ・ボランティア通訳をしていたので、そこの紹介 ・インターネット、マイナビ、タウンワーク ・自分で見つけた ・新聞の求人欄

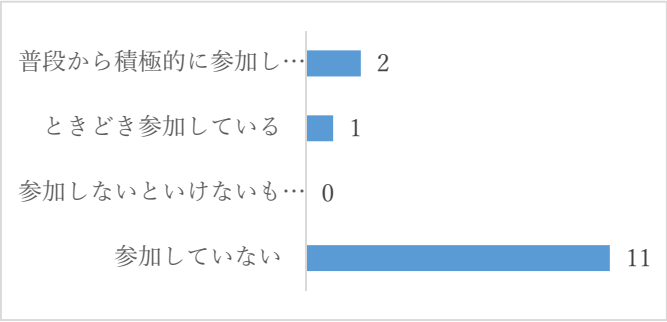
３６．保険や年金制度に加入していますか。	
職場の健康保険	７人
国民健康保険	６人
厚生年金	６人
国民年金	１人
職場の雇用保険	１人
介護保険	１人
どれに加入しているか分からない	１人
どれにも加入していない	１人
合計	２４人



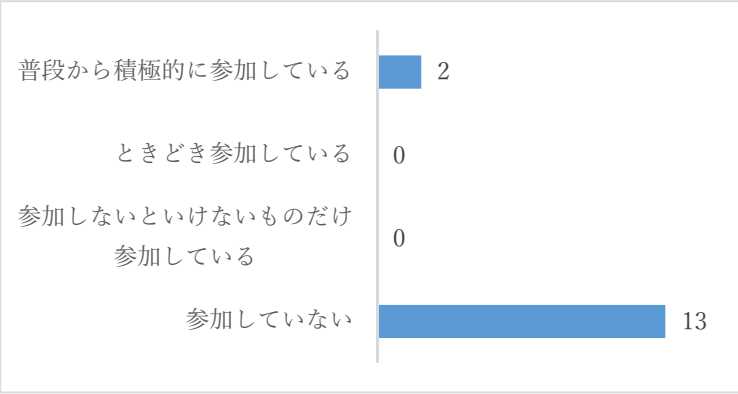
３７．あなたは県や市が行っているサービスを知っていますか。	
保健センターなどで行う健康診断	１０人
保健センターでのパパママ教室	５人
母子健康手帳	１１人
予防接種	１１人
医療費助成（子ども医療制度等）	１１人
児童扶養手当・児童手当	１１人
奨学金・小学援助	１１人
介護保険サービス	８人
生活保護	１１人
障害者手帳	９人
外国人の相談窓口	１２人
合計	１１０人



３８．あなたは、町内の清掃活動に参加していますか。	
普段から積極的に参加している	２人
ときどき参加している	１人
参加しないといけないものだけ参加している	０人
参加していない	１１人
合計	１４人



３９．あなたは、町内のお祭りなどに参加していますか。	
普段から積極的に参加している	２人
ときどき参加している	０人
参加しないといけないものだけ参加している	０人
参加していない	１３人
合計	１５人



４０．あなたは、外国人と日本人が同じ町内でともに暮らすために良い方法は何だと思いますか。（自由意見）
・まず言葉が話せるといい（自分たちが覚える）。団地の駐車場があまっているが２台目はおかさせてもらえない。友達とたまに車を入れ替えるが違う場所に置いていると怒られる。ルールが先にくる。融通が利かない。 ・あいさつをする。周りのペルー人、日本人は普段からコミュニケーションを取っている。 ・町内会はあるが、言葉の壁がある。意見が言えない。共益費を集めても引っ越しの時に持って行ってしまう。持ち逃げ。班長を決めて集金するが、それを持って逃げていく人がいる。町内会の仕組みがわからない。翻訳・通訳がいない。 ・コミュニケーションがない。 ・音がうるさくて近所とトラブルになったので、そこを気をつける。ペルーではお互い様で迷惑の尺度が違う。逆に日本人はルールに厳しすぎる。どこまでが騒音なのか知らない。わからない。悪気があってやっているのではなく、気づいていないからトラブルになる。気づくことが大切。 ・自分の駐車場に別の車を止めるとすぐに注意されていた。コミュニケーション不足が原

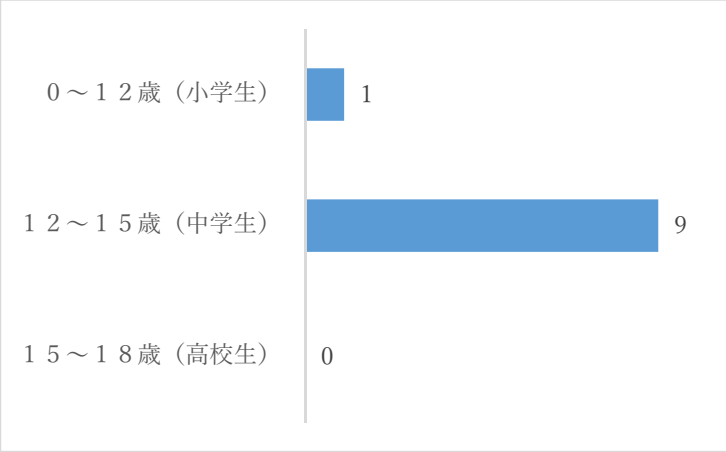
因。普段からコミュニケーションを取ることが大切。日本人は最初は警戒して仲良くなるまでに時間がかかるが親しくなるととても親切になる。それを理解することも大切。お互いの文化、価値観、習慣を知ることが良いのではないか。
・外国人の人にも町内会の制度や仕組みを知らせたらいい。時間や内容がわからないので、参加できない。
・学校からイベントの案内、制度の案内をしてもらう。Facebook、ソーシャルネットワークを使った方がいい。
・日本人は中国人のことを好き嫌いがある。一部を見て判断される。偏見を持たれている。外国人への先入観がある。ニュースでの報道の仕方など。

４１.行政は、犬山市で外国人が暮らしやすい環境にするために何をすべきと考えますか。
・自分と市はやってほしいことは徐々にやってもらっている。利用している所に通訳の支援があるといい。少しずつサービスが充実しているように感じる。コミュニティ通訳者は知られていない。 ・工場があまりないので仕事がない。大きいデパートがないので、市外に買い物にいかなければいけないので、そういった大きなスーパーを誘致するといい。小牧市はブラジル人のお店がたくさんある。外国の商品の取り扱いが多いのでよい。 ・もっと手続きがシンプルだといい。翻訳があってもわからない、多すぎてわからない。必要な項目だけでよいのでは？説明は言葉が分からない人は難しい。だから金曜日にくる。通訳者がいるのを知っているから。 ・福祉もしっかりしている。十分だと思う。小牧はもっと教育にお金をかけている。外国人のためのクラスがあるとありがたい。学校は何もない。家買うときにそこまで考えなかった。給食代も高い、犬山は。 ・犬山に来たばかりで何をやって欲しいか分からない。 ・パンフレット、しおりなど生活情報誌をもっとスペイン語で発信してほしい。犬山市のサービスをもっと外国人の言語で発信して欲しい。それをきっかけにもっとお互いを知るきっかけになる。甥は住むところを探すときに小牧市を選んだ。保険料などが安いと言われている。小牧市が住みやすいという情報がある。犬山市はもっとサービスを発信するべき。児童手当、子供医療、税金の金額など住みやすさを PR するべき。 ・日本語の犬山市の HP があることを知らなかった。 ・犬山市は暗いイメージがある。田んぼが多く、道が暗いので明るくするとイメージが明るくなってもっとイメージが良くなる。県道も楽田のガストまでは明るい。４１号線も犬山市に入ると暗い、もっとお店があるって活気があるといい。リトルワールドでお店を出しにくいが、リトルワールドには人が来るが他にはどこに行くのかと思う。道を明るくすると商売にもつながると思う。色んな国の人の意見を聞くといい。 ・国民健康保険が高い。学費、生活費、アルバイトをしながらは苦しい。集団の中に秩序を守るためにはルールが必要。一人一人に郵便でガイドを送ったり、サポートセンターなどでゴミの捨て方やルールを知る機会があればいい。 日本人から教えてもらえると助かる。 ・手続きの書類や生活ガイドは翻訳した方がいい。イベントをやってもアルバイト、大学で忙しくて参加できない。窓口に通訳があった方がいい。

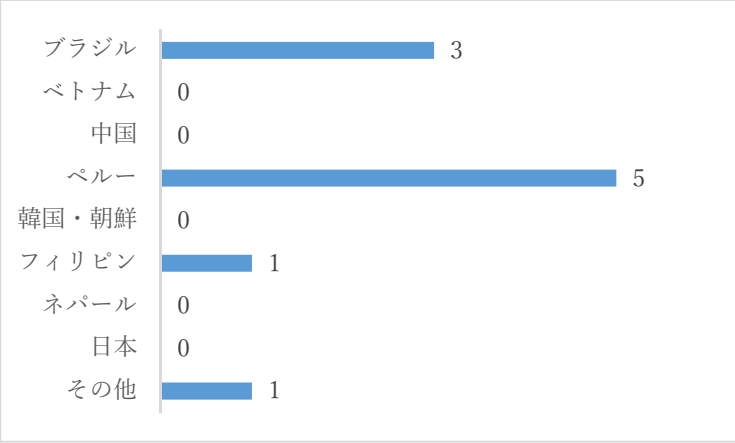
・古い雰囲気がする。若い人が中心となった活動があるといい。名古屋から来ている学生は犬山には何もないと名古屋に帰っていく。外国人のための店、服、遊ぶところがない。インターネットカフェもない。外国人旅行者を呼ぶイベントはあまりない。誘致しているが、発信方法が少ない、よくない。犬山市のドローン撮影したものを PR に使う。SNS など有名なアプリを使う。犬山祭は外国でも受け入れられるが、一度来たらもう一度来たいと思わない。駅の周りが古臭い、歴史的に古いのではなく、犬山駅前を整備した方がいい。
・勉強に一生懸命でまだ生活の問題に気づけない。
・特に困っていなかったのでない。
・広報をスペイン語に、申請用紙をスペイン語に。市役所は優しいけど、忙しそうで聞きにくい。

◆18 歳以下子ども

１．年齢	
０～１２歳（小学生）	１人
１２～１５歳（中学生）	９人
１５～１８歳（高校生）	０人
合計	１０人

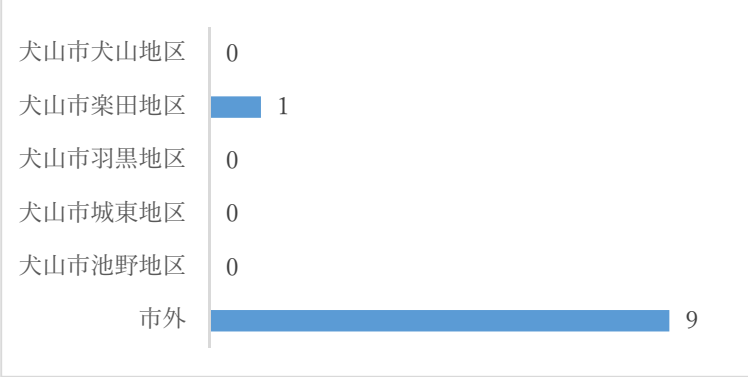


２．国籍	
ブラジル	３人
ベトナム	０人
中国	０人
ペルー	５人
韓国・朝鮮	０人
フィリピン	１人
ネパール	０人
日本	０人
その他	１人
合計	１０人

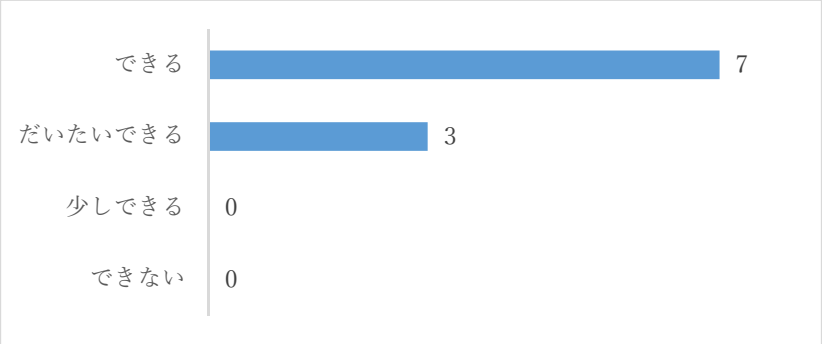


その他
・ボリビア

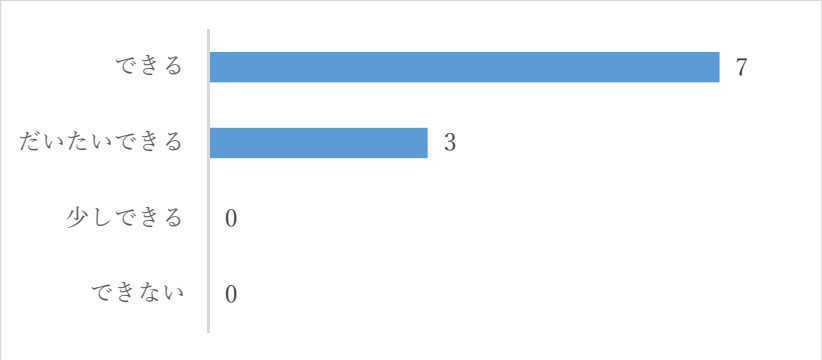
３．現在住んでいるところ	
犬山市犬山地区	０人
犬山市楽田地区	１人
犬山市羽黒地区	０人
犬山市城東地区	０人
犬山市池野地区	０人
市外	９人
合計	１０人



４．インタビュー者が相手の受け答えを見て、記入してください。（聞くこと）	
できる	７人
だいたいできる	３人
少しできる	０人
できない	０人
合計	１０人



５．インタビュー者が相手の受け答えを見て、記入してください。（話すこと）	
できる	７人
だいたいできる	３人
少しできる	０人
できない	０人
合計	１０人



６．犬山市の将来の展望。こんな犬山市になったらいいな。
・言葉に困っていないので、遊び場が欲しい。市民プールが欲しい。会員制のプールしかないので。100 円とかで入れるプール。フロイデまつりなくさないで。 ・ゲーム大会をやる。 ・もっとサッカーの公園があって欲しい。犬山市にもっときれいになって欲しい。ペルー料理のレストランがあって欲しい。フリースペースがあって欲しい。大きな公園があって欲しい。 ・卓球ができるとこがあって欲しい。 ・大型ショッピングモールがあったら多くの人達が集まる。レストランや外食できる所を増やす。 ・大きい遊園地（中高生向け） ・いろんな国の人が参加できる大きいお祭り ・いろんな国の飲食店があるから知ってもらってたくさんの人に食べて欲しい ・電灯を増やしてほしい。自転車で移動しているときに柵がないので増やして欲しい。 ・小さな子供から大人まで使えるスポーツジムが欲しい。畑に電灯をつけてほしい。柵もつけて欲しい。木（緑）を増やして欲しい。歩行者用の信号をたくさん付けて欲しい。 ・川をきれいにして欲しい。川の近くに雑草がたくさん生えていて虫などがたくさんいたから雑草を刈って欲しい。ゴミが散乱しているから市民などと協力してゴミの回収がしたいです。 ・大きな学校がよい。

フロイデまつりでの多文化共生アンケート結果

①あなたの地域では、日本人と外国人はコミュニケーションがとれていますか？
また、一緒に町内活動を行っていますか？

はい　…　２８人　　**いいえ**　…　２４人　　**分からない**　…　１３人
※「分からない」の人数は、周りに外国人が住んでいない人です。

②犬山市を外国人と日本人が暮らしやすくするために、「これがあると良くなる！」と思うことは何ですか？「自分たちが出来ること」は何だと思いますか？

「これがあるとよくなる」＝大人回答＝

生活支援

【1　安心して教育を受けられる教育体制の充実】
～外国籍の子どもたちも安心して学べる環境整備～
・幼稚園、保育園、小・中学校で公教育としての日本語の授業
・言葉が分からない為、教室があるとよい

【4　外国籍市民へのライフサイクルに応じた継続的な支援】
～外国籍市民への途切れない継続的な支援システムの構築～
・交通標識を日本だけのものではなく、世界共通のものにする。
（自分が海外に行ったときに標識の形が違い止まれということが分からなかった）
・店への外国語表示
・看板の外国語表示
・町の至る所で日本語と英語表記の看板など、たくさんあるようにする
・様々な場所に各国の言語による案内表示があると、外国人の方がもっと暮らしやすくなると思います。

コミュニケーション

【5　情報の多言語化と情報伝達手段（SNS 等）の確保】

～日本語を母語としない市民にも理解しやすい情報発信～

・英語等で記載の回覧版（←回覧文書？）

・外国人向けＳＮＳ発信

【6　日本語及び日本社会に関する学習支援】

～日本語を母語としない市民に対する効果的な日本語教育～

・子供から大人までの日本語教室

・日本語の勉強が必要。

・外国人が日本語を学べる環境を作る

～生活に必要な日本社会の基礎知識を習得する機会の提供～

・外国人の学生のマナーが気になる（ただし、日本人の学生も同じ）

・県住にたくさんの人が入っていますが、食べた袋なんか捨てているので注意したいけれど何もできなくて…

・雪山でのサバイバルゲーム等、楽しみながら災害訓練術

・お互いに挨拶をしあう

・外国人の方からも挨拶を返してほしい。そうすれば、コミュニケーションがとれる

・挨拶がもっと出来るようになればよい

・コミュニケーション

【7　公共施設等での通訳システムの充実】

～日本語を母語としない市民に対するコミュニケーション支援～

・通訳してくれる機材が各町内にあるといい

・通訳の機械（ロボット）

・町内又は地区に外国人の担当者がいるといい

・日本語の通訳が欲しい

・言葉に不安があるので、スマホなどの通話機能で会話できるといいな

・予算等は無視してですが、まずは、翻訳機（ポータブル）を用意していただいて、日本人と外国人が触れ合う場を作っていただくこと

・自動翻訳アプリを更に広めると良い

・外国語の会があると良い

多文化共生の地域づくり

【8　多文化共生についての理解促進】

～多文化共生社会の理解促進と差別に対する対応～

・多国籍交流

・お互いの文化を知り合うことができる機会や場所

・フロイデまつり…各国の民族文化がわかるし仲良くなる。他国の食べ物に興味があります

・プライベートでお互いの事を話し合える場ができたら良い

➡お互いを知り、情報交換ができる

・生活習慣、文化の違いの理解（価値観の寛容性）

・いろいろな国の特産品を扱った店が増えると、その国の印象がよくなる

・どこの国の人でも、交流できるスペースが増えるといいと思います。

・交流できる場所、時間

【9　外国籍市民の地域社会への参加促進】

～地域の担い手としての外国籍市民へ～

・共通のイベントや行事

・小さくてもイベント（サッカー大会など）をやってみる

・一緒になにかできるプログラムがもっとあるとよい

・もっとイベントがあれば良いと思います

・町内のそうじでも良いので、外国の人も参加できる工夫を

豊かで活力のある地域づくり

【10　外国人を受け入れている地域などへの支援】

～受け入れ側に対する支援の充実～

・他国の人と直接交流できるといい。特に、子どもと一緒に遊べるといいと思います

・交流の場

・交流の場所

・趣味で交流

・皆が集まって話せる楽しい場づくりを多くするといいと思う

・オリンピックを一緒に盛り上げる

・一緒に遊ぶ場所

【その他】

・犬山城を外国人に無料開放する

・医療、年金の制度をつくる。（←外国人向けの制度？）

「これがあるとよくなる」＝子ども回答＝

生活支援

【1　安心して教育を受けられる教育体制の充実】

～外国籍の子どもたちも安心して学べる環境整備～

・外国人も通いやすい学校

・授業でそういう機会をつくる

・英語をしゃべる

・日本人が英語をしゃべれるようになれば関係がよくなると思う

コミュニケーション

【5　情報の多言語化と情報伝達手段（SNS 等）の確保】

～日本語を母語としない市民にも理解しやすい情報発信～

・言葉が分からないから、看板に外国語の看板も付けてほしい

【6　日本語及び日本社会に関する学習支援】

～生活に必要な基礎知識を習得する機会の提供～

・学校に大人の外国人や子供の外国人を招待する

・授業で外国の話をする

多文化共生の地域づくり

【8　多文化共生についての理解促進】

～多文化共生社会の理解促進と差別に対する対応～

・城下町のお店を増やすとよくなる。ツアーを増やすと良くなる

・他の国の食べ物や飲み物が売っている店

・外国人も楽しめる日本の遊び（広い遊園地など）

・もっと病院を増やす

・一緒に遊べる場所があるといい

・イベントを増やす

豊かで活力のある地域づくり

【10　外国人を受け入れている地域などへの支援】

～受け入れ側に対する支援の充実～

・事故を減らす

「自分たちができること」＝大人回答＝

コミュニケーション

【6　日本語及び日本社会に関する学習支援】

～生活に必要な基礎知識を習得する機会の提供～

・外国出身の子供に、日本の言葉や遊びを教える
・日本の生活習慣を伝える
・家庭に招待する
・みんなで歌を歌う
・声かけ
・気軽に声を掛け合う
・笑顔で挨拶を交わすと気持ちがよい
・言葉が分からなくても、手振りなどで通じるものがある。何より挨拶が大事だと思う
・笑顔で声かけ
・ふれあう場が多くあると良い
・違うもの、見知らぬことへの恐怖感を減らす
・呼びかけや普段からの挨拶等の関係づくり
・住民が外国人に一声かける
・挨拶
・近所に外国人がいることを知り、声かけ（挨拶）をする
・外国語を覚え、お話ができるようになると良い
・話すこと
・躊躇せず話しかける
・あいさつから
・一緒に遊ぶ

【8　多文化共生についての理解促進】

～日本語を母語としない市民に対するコミュニケーション支援～

・積極的に交流をする

・双方向（日本人⇔外国人）の交流を促進

・偏見をなくして、お互いの国の事を話したいと思います。

・お互いに思いやりを持ち、相手が何を望んでいるかを知る

・少し話しかけて、お手伝いができることであれば、させていただく

・話しかけられた時を想定して自分でも英語等を練習しておく

・スマホを使ってコミュニケーションをとる

・スマホを使って会話する

・他国の素晴らしい事を他の人に話すことや、行われている事に協力できる

（フロイデまつり参加者からの意見）

【9　外国籍市民の地域社会への参加促進】

～地域の担い手としての外国籍市民へ～

・困っている人を見かけたら、勇気を出して声を掛け合うこと

・困っていたら話しかける

・声かけ。外国人にどこの国の方なのか聞いてから、その人に合ったことが出来たらいいと思います。

・困っていることがないか話しかける

・困っている人がいたら声をかける

・外国に旅行などに行った時の話などを楽しく話せる場を作る

・声をかけあって、町内会に気軽には入れるシステムがあるといい。

・交流の場に積極的に参加する

・手仕事、パッチワークで交流（現在も行っている）

豊かで活力のある地域づくり

【10　外国人を受け入れている地域などへの支援】

～受け入れ側に対する支援の充実～

・情報を伝えてみる

・英語等の言葉の教育

・外国語を勉強し使用する

・不就学の子に声をかける

・不満があるなら直接言ってみる
・ラジオ体操を全員で一緒に行う
・いろいろな場に進んで参加すること

「自分たちができること」＝子ども回答＝

【6　日本語及び日本社会に関する学習支援】

～生活に必要な基礎知識を習得する機会の提供～

・九九を教える
・仲良くなれるように話しかけてみる
・トランポリンで一緒に遊ぶ
・たくさんしゃべる
・いっぱいお話をする
・一緒に遊ぶこと
・みんなと楽しくする。
・道案内をする
・クリスマス会など一緒に遊ぶ
・あいさつ
・仲良くあそんでいる
・遊ぶこと

【8　多文化共生についての理解促進】

～日本語を母語としない市民に対するコミュニケーション支援～

・英語をみんなで勉強する
・英語を覚えて外国人と仲良くなること
・文化を教えること
・自分たちの学校に外国人や他の国の人が来ても差別をせずみんなと仲良くなる
・英語をしゃべれるようにする
・言葉を分かるようにする
・英語を練習する
・外国語を習う

【10　外国人を受け入れている地域などへの支援】

～受け入れ側に対する支援の充実～

・自分たちが通訳できるようにがんばる

・日本の遊びをたくさん教えてあげる

今回のアンケートは、フロイデまつりに来た市民と出展者に呼びかけをしました。日本語が分かる方には、そもそも犬山市民は身近な外国人とコミュニケーションがとれているのかを聞きました。その結果、半数の方が普通にできていると答えました。

次に「犬山市に住む外国人が年々増えており、いろいろな問題がでていますが、こんなものがあると日本人と外国人が上手くやっていけると思うものは何ですか？また、自分たちは何ができると思いますか？」と聞きました。日本語が分からない方には、町内の事について聞きました。

大人からは、伝わらないと困るものについては、外国語と日本語を併記する、また、通訳機があればお互いが理解でき意思疎通が図れるという回答が多かったのに対し、子どもからは、自分たちが外国語を学んで日本のことを教えるという意見が多くあり、日本語と外国語を一緒に学ぶ場があるといいのではと思いました。

自分たちができることで一番多かったのは、簡単で誰でもできる「挨拶」でした。特に高齢の方や子どもからの意見が多く、日本社会での生活において、「挨拶」というのはとても重要で、どんな言葉であれ、笑顔で挨拶を続ければ、印象に残りコミュニケーションのきっかけを生み出します。そこから交流が始まり、日常の行き違いを話せる関係が築けるのではないかと思います。

日本語が分からない外国人の方のアンケートからも、国の文化の違いから町内会に参加していないことがうかがえ、こちらが知ってほしい情報と、外国人が知りたい情報が違うことがあるので、そこをいかに伝えるかが課題です。

アンケート参加者（総数 65 人）

内訳：日本語が読めない外国人…15 人

日本語が読める外国人、日本人…50 人

（うち、子ども 19 人）

犬山市多文化共生推進会議実施記録

H27年度	第1回	第2回
日時	2015（平成27）年12月21日(月)19:00～	2016（平成28）年3月4日(金)19:00～
場所	市役所203会議室	市役所203会議室
出席者	15人 （欠席1人）	13人 （欠席3人）
議題等	○委員の紹介 ○会長、副会長の選任 ○議題 ・犬山市の多文化共生に関係する情報 ・犬山市の多文化共生に関する取組み ・犬山市多文化共生推進会議の今後について	○議題 ・犬山市の多文化共生に関係する情報 ・小中学校における多文化共生について

H28年度	第3回	第4回
日時	2016（平成28）年10月26日（木）19：00～	2017（平成29）年3月1日（水）19：00～
場所	市役所203会議室	市役所202会議室
出席者	13人 （欠席3人）	8人（欠席8人）
議題等	○議題 ・犬山市の多文化共生に関係する情報 ・「多文化共生とは」についての意見交換	○議題 ・多文化共生の取組に関する情報 （情報交換） ・今後の犬山市多文化共生推進会議について

H29年度	第1回	第2回
日時	2018（平成30）年2月13日（火）19：00～	2018（平成30）年3月29日（木）19：00～
場所	市役所203会議室	市役所203会議室
出席者	10人（欠席3人）	9人（欠席4人）
議題等	○委員の紹介 ○会長・副会長の選任 ○議題 ・犬山市多文化共生推進ビジョンについて ・作成プロセスについて ・作成スケジュールについて ・国籍別人口 ・在留資格別人口 ・人口ピラミッド ・犬山市の現在の取組み	○報告 ・第1回犬山市多文化共生推進委員会（庁内会議）の実施について ○議題 ・犬山市多文化共生推進ビジョンについて ・外国人住民基礎調査について

H30年度	第3回	第4回
日時	2018（平成30）年7月30日（月）19：00～	2018（平成30）年10月22日（月）19：00～
場所	市役所203会議室	市役所203会議室
出席者	8人（欠席5人）	8人（欠席5人）
議題等	○報告 ・外国人住民基礎調査について ○議題 ・議事録署名人の選任 ・犬山市多文化共生推進ビジョンについて	○報告 ・広報犬山11月1日号特集記事について ・外国人住民実態調査について ・フロイデまつりでの意見募集について ○議題 ・議事録署名人の選任 ・犬山市多文化共生推進ビジョンについて
	第5回	
日時	2019（平成31）年3月18日（月）19：00～	
場所	市役所203会議室	
出席者	8人（欠席5人）	
議題等	○議題 ・議事録署名人の選任 ・犬山市多文化共生推進ビジョンについて	